

TOTO

誤記訂正あり(次回改訂時に修理修正予定)
・対象ページ:P13

施工説明書

レストルームドレッサー プレミアムシリーズ

M/Lサイズ ブラケット (ULN A/G/R)

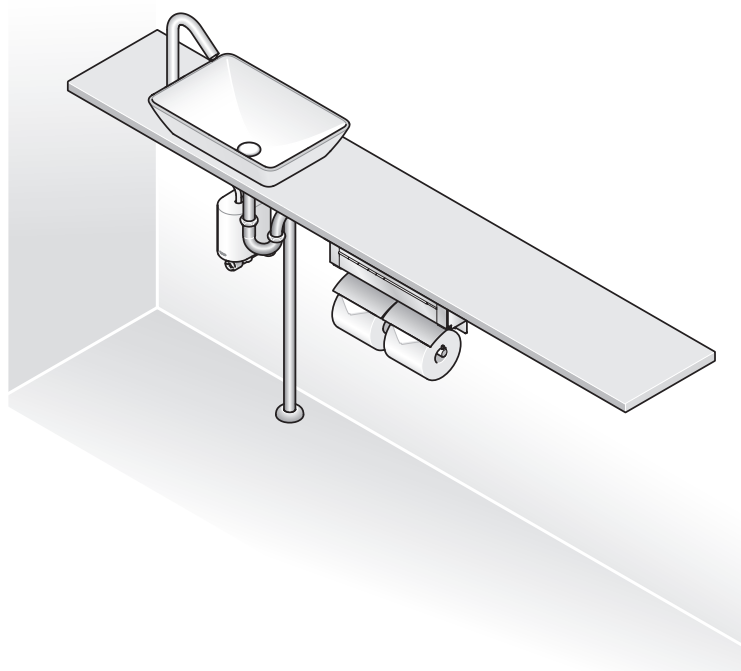
◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

本書は左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。



商品の確認 2

- | | |
|-------------|---|
| 1. 商品タイプの確認 | 2 |
| 2. 商品の構成 | 3 |
| 3. 施工ダイジェスト | 4 |

情報編 7

- | | |
|------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 8 |
| 2. 取付前のご注意 | 10 |
| 3. 部品の確認 | 23 |

手順編 27

工事店様へ

- ☐ 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。
お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。



商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

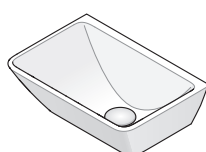
お施主様のお宅は、どのタイプですか？

手洗器

Mサイズ

ベッセルタイプ(角形)

品番:ULN*1～



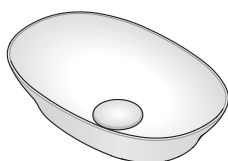
手洗器なし

品番:ULN*N～

Lサイズ

ベッセルタイプ(丸形)

品番:ULN*2～

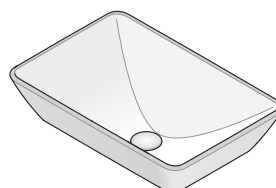


手洗器なし

品番:ULN*N～

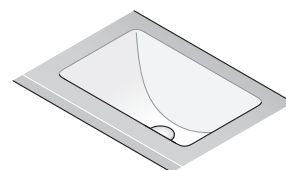
ベッセルタイプ(角形)

品番: ULN*3～



ボウル一体タイプ

品番: ULN*4～



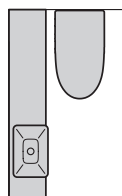
手洗器位置

※図は1方エプロン・Lサイズベッセルタイプ(角形)の場合

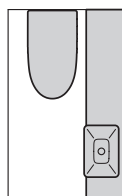
側面設置

対面設置

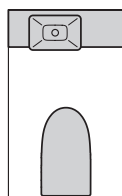
左勝手



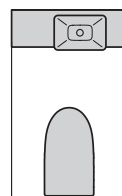
右勝手



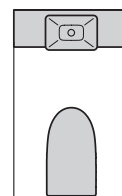
左勝手



右勝手



中央



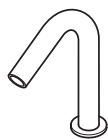
水栓金具

※手洗器ありの場合のみ

エプロン形状

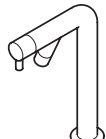
※図はLサイズベッセルタイプ(角形)の場合

自動水栓

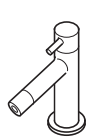


ハンドル式水栓

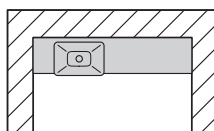
ベッセルタイプ(丸形/角形)



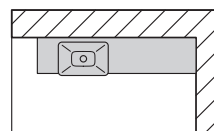
ボウル一体タイプ



1方エプロン

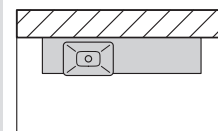


2方エプロン



3方エプロン

※対面設置の場合のみ



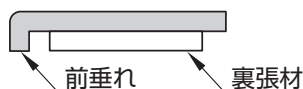
カウンタータイプ

※図は断面図を示す

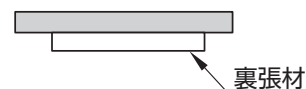
木質製カウンター



マーブライトカウンター

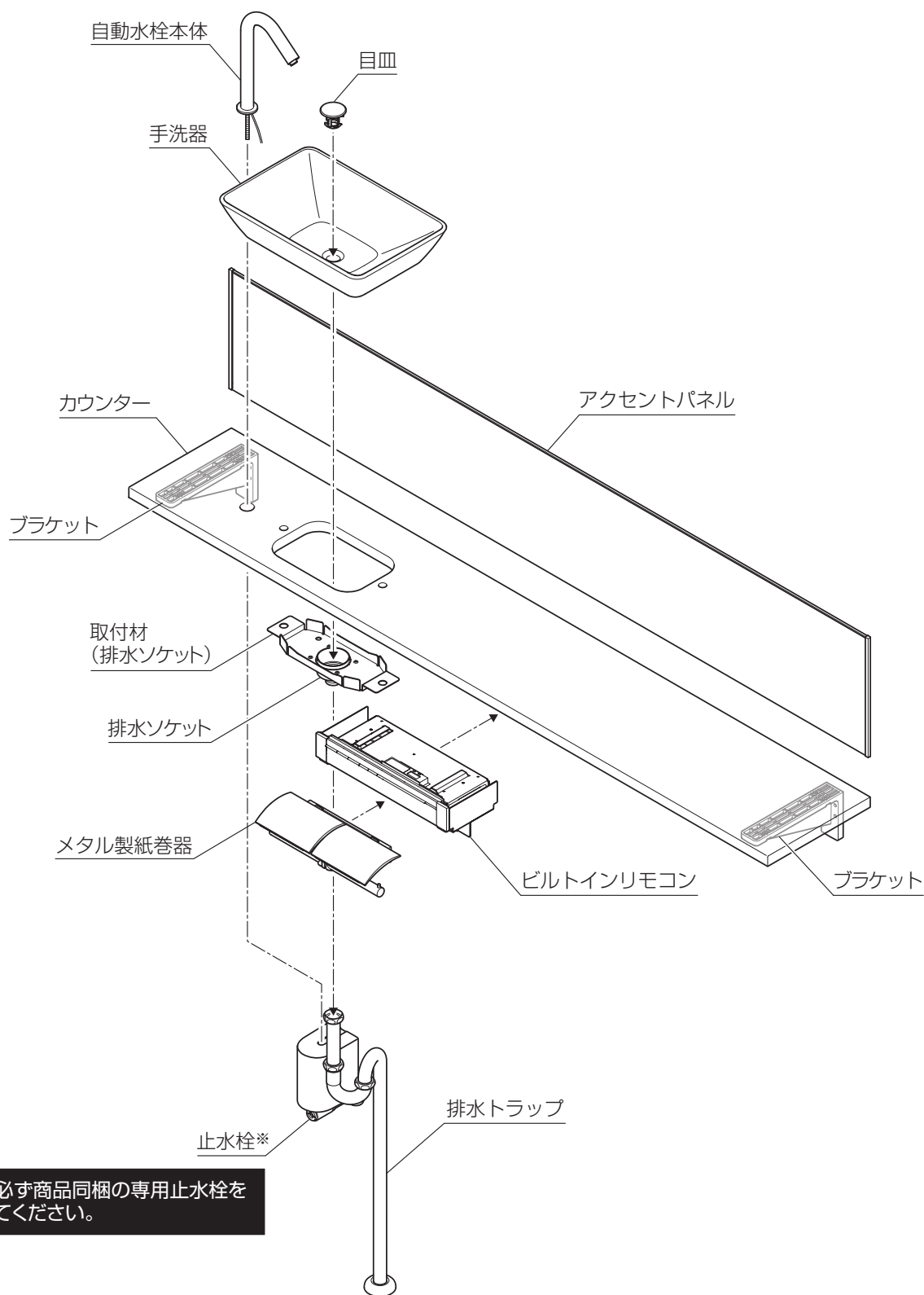


クリスタルカウンター



商品の構成

商品タイプにより構成が異なります。

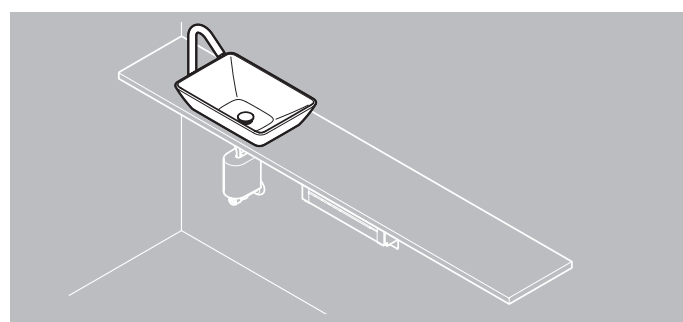
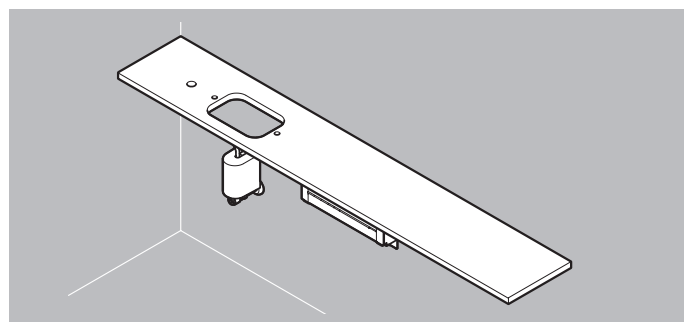


※図は側面設置／Lサイズ／ベッセルタイプ(角形)／左勝手／ビルトインリモコン有／自動水栓／壁給水・床排水／メタル製紙巻器／木質製カウンターの場合

施工ダイジェスト

施工ダイジェストはおおよその施工の流れをご理解いただくためのものです。

施工にあたっては、手順編の内容を十分に確認し、安全上のご注意、施工上のご注意を必ずお守りください。



0. 施工前の準備

▶ 本編 P.28

1. 給水管・止水栓

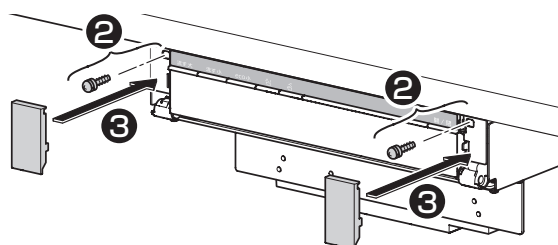
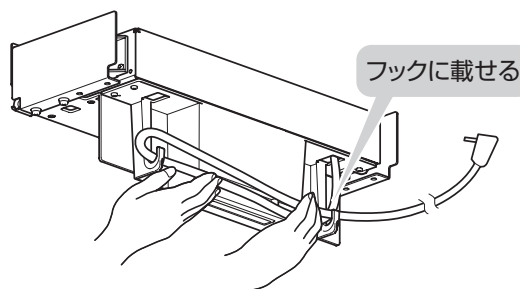
▶ 参照 自動水栓施工説明書

2. ブラケット・カウンター

▶ 本編 P.30

3. ビルトインリモコン

①



手締め

十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×10 (2本)

4. アクセントパネル ★

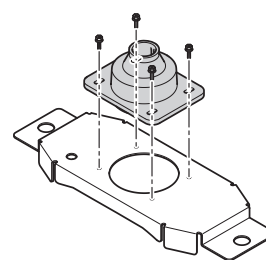
▶ 本編 P.33

5. 手洗器・水栓金具

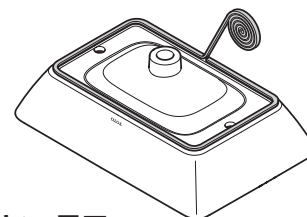
1. 排水ソケット

手締め

十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×12、鉄(4本)

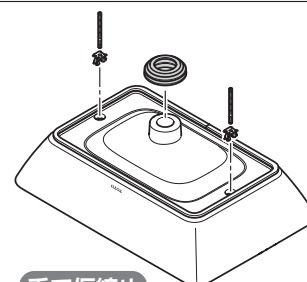


2. クッション材



3. 手洗器・パッキン・目皿

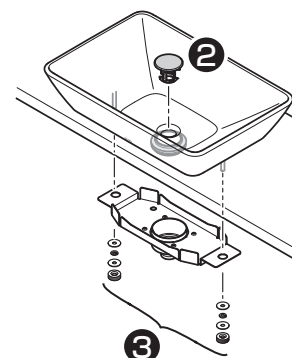
①



手で仮締め

クリップナット
(2個) 寸切ボルト
M6×65、鉄(2本)

ばね座金
M6 (2個)
平座金
M6 (4個)
ローレットナット
M6 (2個)

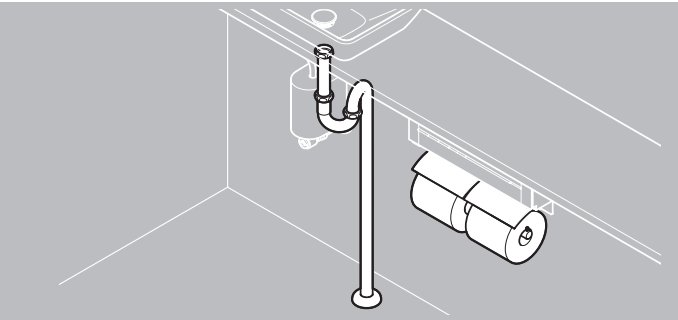
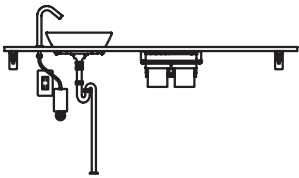


4. 水栓金具

▶ 参照 自動水栓施工説明書

下記仕様の施工ダイジェストです。「★」の工程は下記仕様の施工には不要です。

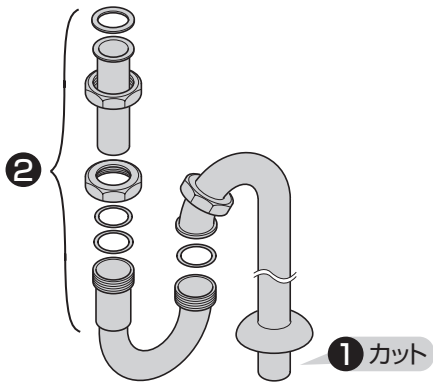
タイプ	ブラケット	水栓金具	自動水栓・一般地
手洗器	Lサイズ・ベッセルタイプ(角形)	給排水位置	壁給水・床排水
エプロン	1方エプロン	紙巻器	メタル製
ビルトインリモコン	あり		



6.フレキホース・電気温水器 ★

▶ 本編 P.43

7.排水トラップ



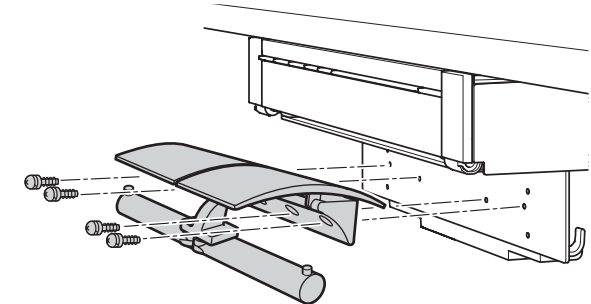
8. 紙巻器

1.取付材(紙巻器) ★

▶ 本編 P.47

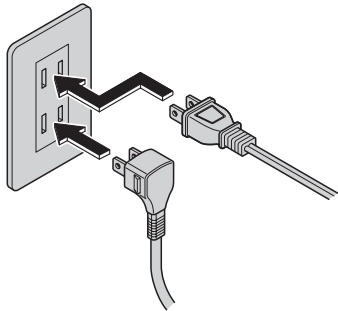
2.紙巻器

十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×8(4本)



9. 試運転・確認

1.電気コンセント



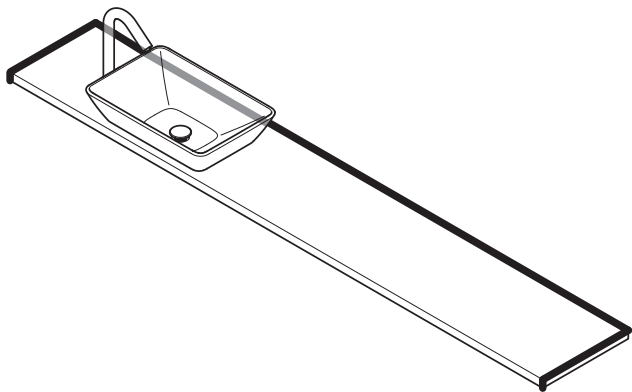
2.吐水の確認

▶ 参照 自動水栓施工説明書

3.水漏れの確認

▶ 参照 自動水栓施工説明書

10. シリコン系シール剤



11. ビルトインリモコンの組み合わせ設定

▶ 本編 P.54

12. 照明付化粧鏡の動作確認★

▶ 本編 P.57

MEMO

情報編

1. 安全上のご注意 ▶ 8

2. 取付前のご注意 ▶ 10

取付前の確認	10
--------	----

専用大便器	10
-------	----

1 設置寸法	11
---------------	----

2 給排水位置	15
----------------	----

3 補強材位置	19
----------------	----

4 電気工事	19
---------------	----

5 コンセント位置	20
------------------	----

6 窓枠	22
-------------	----

7 必要工具	22
---------------	----

3. 部品の確認 ▶ 23

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。



警告

誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

</

 警告	 必ず守る	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	手洗器クッション材の張り付けおよび必要箇所へのシリコン系シーリング剤の塗布(コーキング)は確実に行う 水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。
		電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く 電源プラグ・コードの傷みによる火災や感電の原因となります。	接着剤・両面テープは、容器など記載の注意表示に従い、正しく使用する 誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。
		コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。	

 禁止	カウンターの上に乗って作業しない カウンターが破損したり落下したりして、けがのおそれがあります。	
	商品に強い力や衝撃を与えない 商品が破損・落下してけがをするおそれがあります。 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	電源コードは指定された機器以外に使用しない 機器故障の原因となります。
	フレキホースが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、 ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、 束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財 産損害発生の原因となります。	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因と なります。
 注 意  必ず守る	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり、 物を載せたりしないよう十分注意する 倒れや落下によりけがのおそれがあります。	給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を 取り付けるときは接続部やフィルターふたを 確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	設置工事に使用する部材は必ず付属部品 および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因 となります。 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓（フィルター 付き）を取り付けてください。
	推奨位置以外に設置する場合は、安全性を 十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそ れがあります。	凍結による破損の予防を行う 凍結すると商品の一部が破損し、水漏れして家財などを めらす財産損害発生の原因となります。
	商品の取り付け・加工は、本説明書に記載され た方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	凍結のおそれがある地域では、配管部材など に保温材を巻く また寒冷地用の場合は水抜きを行う 自動水栓は、自動水栓施工説明書内「寒冷地用 の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などを めらす財産損害発生の原因となります。
	商品周囲のすきま処理は、本説明書に記載さ れた方法・注意事項を厳守する 水が浸入して家財などをめらす財産損害発生の原因と なります。	カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがのおそ れがあります。
	給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・ 注意事項を遵守する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因と なります。	金属露出部や鋭利な部位を扱うときは、軍手 などを使用する 取付時にけがのおそれがあります。
	ねじ部の固定は、本説明書に記載された方法・ 注意事項を遵守する 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	切削などの加工時は、防護マスクなどの安全 防具を使用する けがのおそれがあります。
	水平器を用いて水平に設置する 収納物が落下してけがのおそれがあります。	パネル取扱い時は手袋を使用する けがのおそれがあります。
	工事完了後、給排水管から水漏れがないか 確認する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	粉塵は電気掃除機で清掃の上、掃除機に収集さ れた粉塵をビニール袋に回収密閉して破棄する
		アクセントパネル本体や角に過度の衝撃を与えない 割れてけがのおそれがあります。

2.取付前のご注意

施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。

取付前の確認

アクセントパネルを設置する場合

- ・取り付けは建築壁の構造を確かめて確実に取り付けてください。
- ・取り付けを誤ると、使用中にアクセントパネルが落下し、けがをするおそれがあります。
- ・クロスが既に張られている場合には、アクセントパネル張り付け範囲をはがしてください。
- ・釘やねじの飛び出しがないことを確認してください。はがれや浮き・割れの原因になります。

専用大便器

レストルームドレッサープレミアムシリーズと組み合わせる大便器は、**ビルトインリモコンの設置有無**で異なります。下記に従って、大便器を選択してください。

ビルトインリモコンを設置する場合

- ・必ず右に示す専用の大便器を設置してください。
- ・専用品以外の大便器を設置された場合、ビルトインリモコンは作動いたしませんので、十分ご注意ください。
- ・専用大便器の品揃えは右記の3種類です。

ビルトインリモコンを設置しない場合

一般の大便器を設置してください。

専用大便器

ネオレストNX
(レストルームドレッサー専用品)

ネオレストAHW
(レストルームドレッサー専用品)

ネオレストRHW
(レストルームドレッサー専用品)

MEMO

1 設置寸法

- ・快適にご使用いただくために、以下のトイレ寸法を確保してください。
- ・設置される大便器の前出寸法によってトイレの必要寸法が異なりますので、ご注意ください。
- ・トイレスペースの奥行き寸法に応じて、紙巻器や手すりなどの使い勝手に配慮した適切な位置に手洗器を設置してください。
- ・ドアとの位置関係を事前にご確認ください。ドアとの位置によってドア枠とカウンターなどが干渉してしまうことがあります。
- ・商品を設置する床面や壁面に6/1000mm以上の不陸がないことを確認してください。
床・壁面が6/1000mm以上の不陸がある場合、商品に著しい段差やすき間が生じることがあります。
- ・アクセントパネルを設置する場合、壁面に2/1000mm以上の不陸がないことを確認してください。
壁面が2/1000mm以上の不陸がある場合、アクセントパネルとカウンターにすき間が生じることがあります。

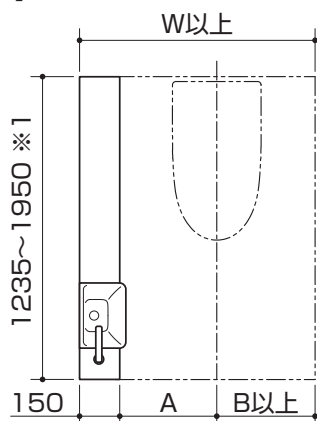
側面設置の場合

- ・本図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。
- ・リモコンを壁に設置する場合は、カウンター側の横壁に設置してください。
ただし、Lサイズで大便器中心からカウンター側の横壁までが600mmを越える場合は、カウンターと反対側の横壁に設置してください。

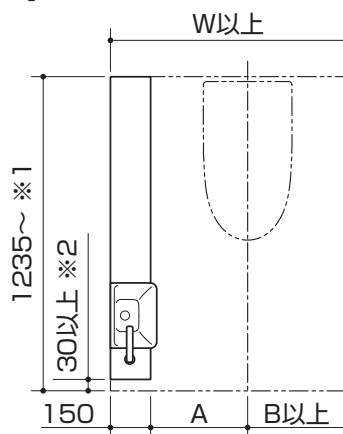
立管タイプ以外の場合

Mサイズ

【1方エプロン】



【2方エプロン】

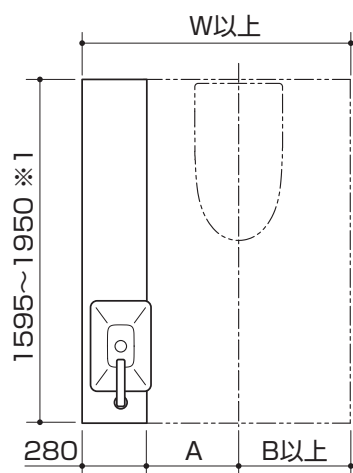


エプロン形状	大便器	W	A	B
1 方エプロン	ネオレスト AH/RH/DH	810	280 ~ 410 ※4※5	350
	GG・ピュアレスト EX/QR	815 ※3	280 ~ 410 ※3※4※5	
	ネオレスト NX ※6※7	815	280 ~ 410	385
	FD	890 ※8	365 ~ 435	375
2 方エプロン	ネオレスト AH/RH/DH	780	280 ~ 410 ※4※5	350
	GG・ピュアレスト EX/QR	815 ※3	280 ~ 410 ※3※4※5	
	ネオレスト NX ※6※7	815	280 ~ 410	385
	FD	890 ※8	365 ~ 435	375

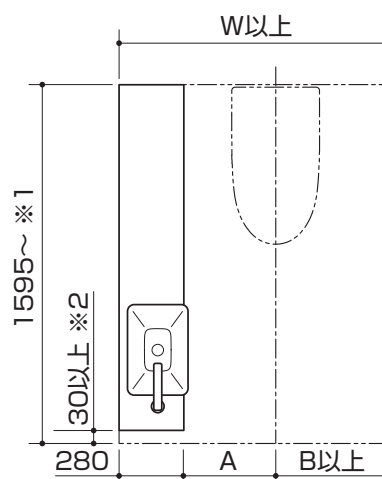
- ※1 商品タイプや便器によって最小奥行き寸法が異なります。
- ※2 指の挟みこみ防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。
- ※3 左勝手にピュアレスト EX/QR にウォシュレット SB をセットする場合は、W=850、A=350 となります。
- ※4 ハンドグリップをカウンター側の横壁に設置する場合は、A=345 までとなります。
- ※5 レストルームドレッサー専用のインテリア・バーをカウンター側の横壁に設置する場合は、A=390 までとなります。
- ※6 ハンドグリップを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。
- ※7 木製手すり、インテリア・バーを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。
- ※8 FD とセットする場合は、960mm まで設置可能です。

Lサイズ

【1方エプロン】



【2方エプロン】



エプロン形状	大便器	W	A	B
1 方エプロン	ネオレスト AH/RH/DH	940	280~410 ※4	350
	GG・ピュアレスト EX/QR	945 ※3	280~410 ※3※4	
	ネオレスト NX ※5	1050	385~410	385
2 方エプロン	ネオレスト AH/RH/DH	910	280~410 ※4	350
	GG・ピュアレスト EX/QR	945 ※3	280~410 ※3※4	
	ネオレスト NX ※5	1050	385~410	385

※1 商品タイプや便器によって最小奥行き寸法が異なります。

※2 指の挟みこみ防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

※3 左勝手でピュアレストEX/QRにウォシュレットSBをセットする場合は、W=1040、A=410となります。

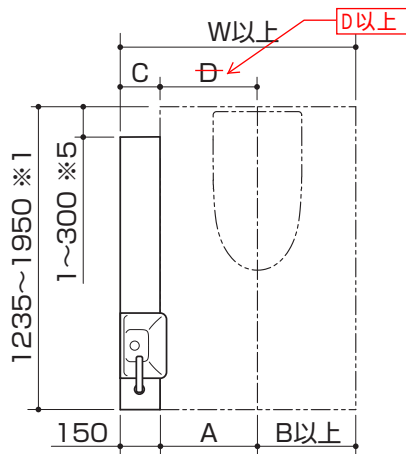
※4 レストルームドレッサー専用のインテリア・バーをカウンター側の横壁に設置する場合は、A=380までとなります。

※5 木製手すり、インテリア・バーを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。

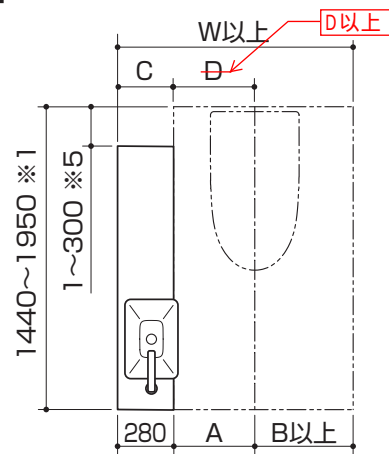
MEMO

立管タイプの場合

【Mサイズ】



【Lサイズ】



サイズ	大便器	W	A	B	C	D
M サイズ	ネオレスト AH/RH/DH ※3※4	855	355~410	350	155 ~ 210	350 ~ 405
	GG・ピュアレスト EX/QR ※3※4	855	355~410			
	ネオレスト NX	925	390~410			385 ~ 405
L サイズ	ネオレスト AH/RH/DH ※3※4	985	355~410	350	285 ~ 340	350 ~ 405
	GG・ピュアレスト EX/QR ※3※4	985 ※2	355~410 ※2			
	ネオレスト NX ※3※4	1055	390~410			385 ~ 405

※1 商品タイプや便器によって最小奥行き寸法が異なります。

※2 左勝手でピュアレストEX/QRにウォシュレットSBをセットする場合は、W=1040、A=410となります。

※3 ハンドグリップを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。

※4 木製手すり、インテリア・バーを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。

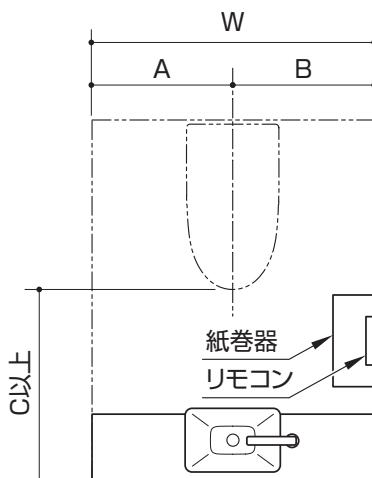
※5 立管幅が250未満では壁排水便器左右抜きでカウンター側に抜くことはできません。

MEMO

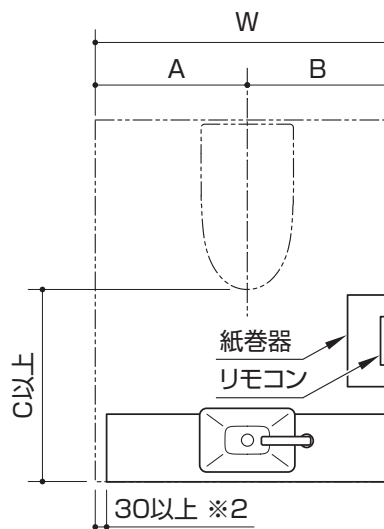
対面設置の場合（Lサイズのみ）

リモコンを壁に設置する場合は、紙巻器と同じ側に設置してください。

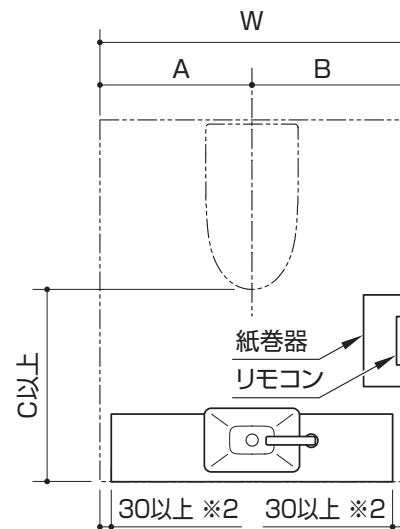
【1方エプロン】



【2方エプロン】



【3方エプロン】



サイズ	エプロン形状	手洗器位置	W
Lサイズ	1方エプロン	右 / 左	750 ~ 1500
		中央	
	2方エプロン	右 / 左	760 ※1 ~
		中央	
	3方エプロン	右 / 左	845 ~
		中央	

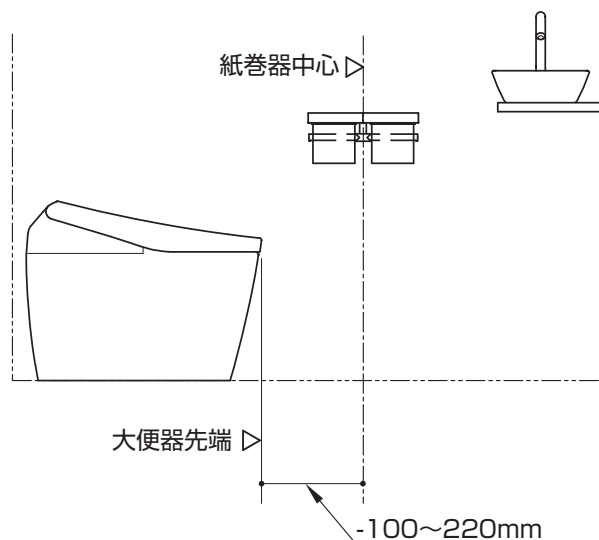
大便器	A	B	C
ネオレストAH/RH/DH	375以上	375~480	780
GG・ピュアレストEX/QR			
FD	375~480	374~480	
ネオレストNX	385以上	385~480	

※1 エプロンの位置が手洗器と反対側にある場合は、W=810以上となります。

※2 指の挟みこみ防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

【紙巻器設置範囲】

下記範囲内でプラン図や実際の使い勝手をご確認のうえ、紙巻器を設置してください。



2 給排水位置

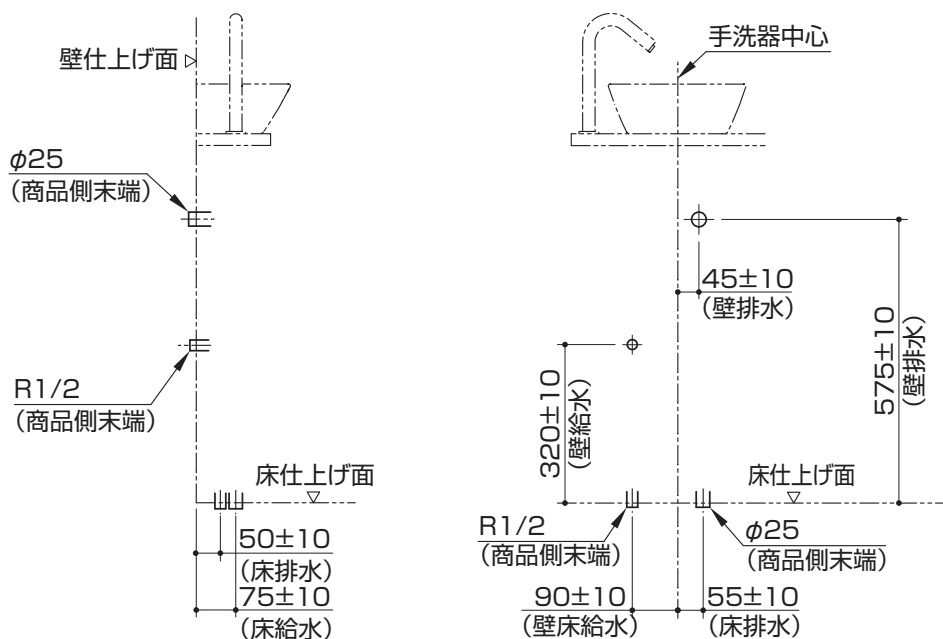
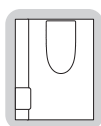
- ・設備側給水管の取り出しは壁・床仕上げ面と同一面としてください。
- ・設備側排水管の取り出しは壁排水の場合、壁仕上げ面と同一面としてください。
床排水の場合は床仕上げ面と同一面で取り出してください。
- ・電気温水器を設置する場合も同位置になります。
- ・ただし、排水管(φ32 またはφ25)への接続に際しては排水用アダプター(現場手配)をご用意ください。
- ・給水圧力は、最低必要水圧：0.05MPa(流動時)最高水圧：0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。

Mサイズ

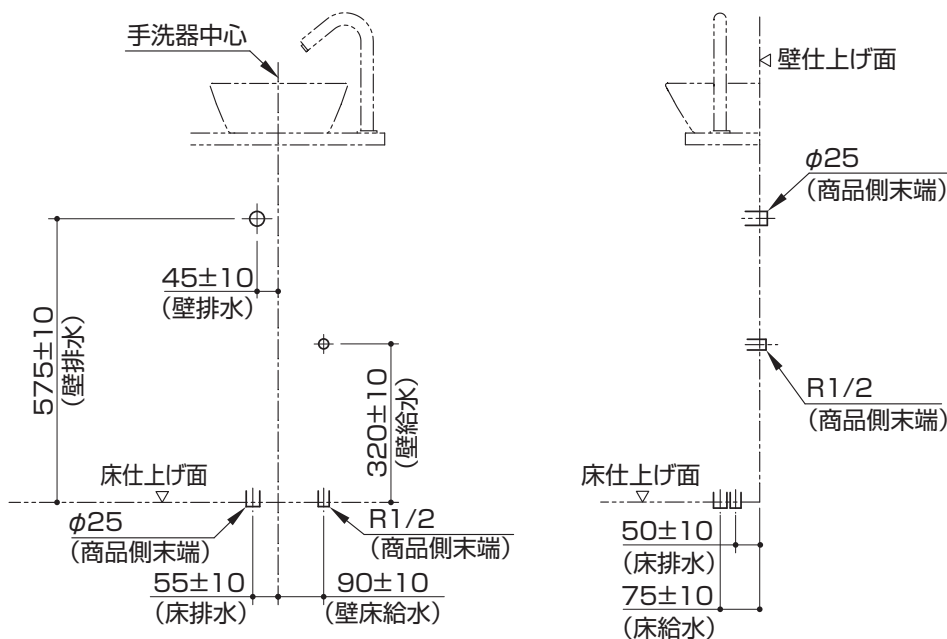
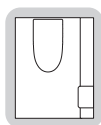
参照 大便器の給排水位置は、大便器の施工説明書をご覧ください。

ベッセルタイプ(角形)

【左勝手】



【右勝手】



警告



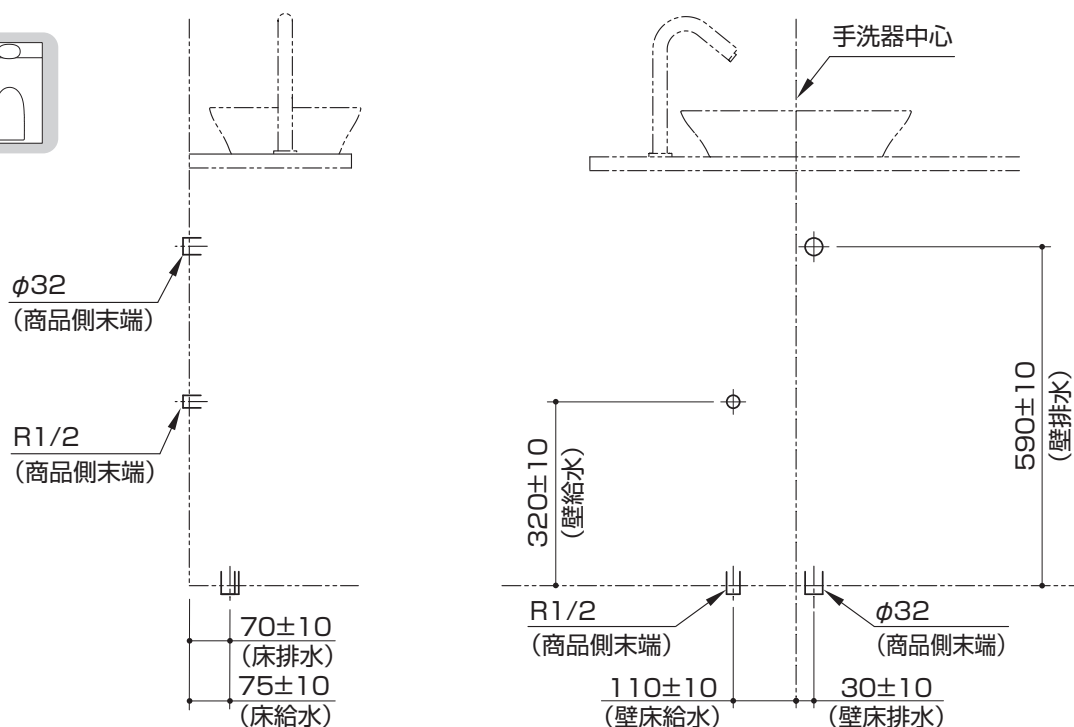
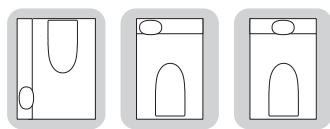
器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

Lサイズ

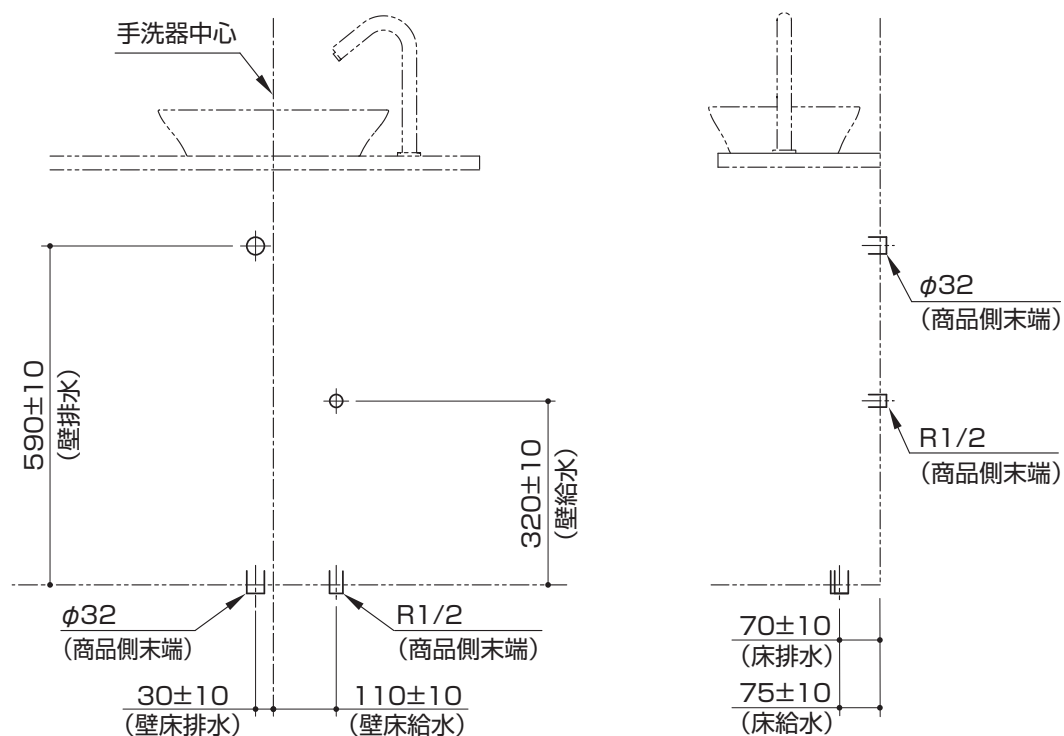
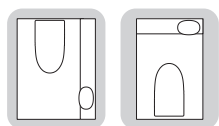
参照 大便器の給排水位置は、大便器の施工説明書をご覧ください。

ベッセルタイプ(丸形)

【左勝手・中央】



【右勝手】



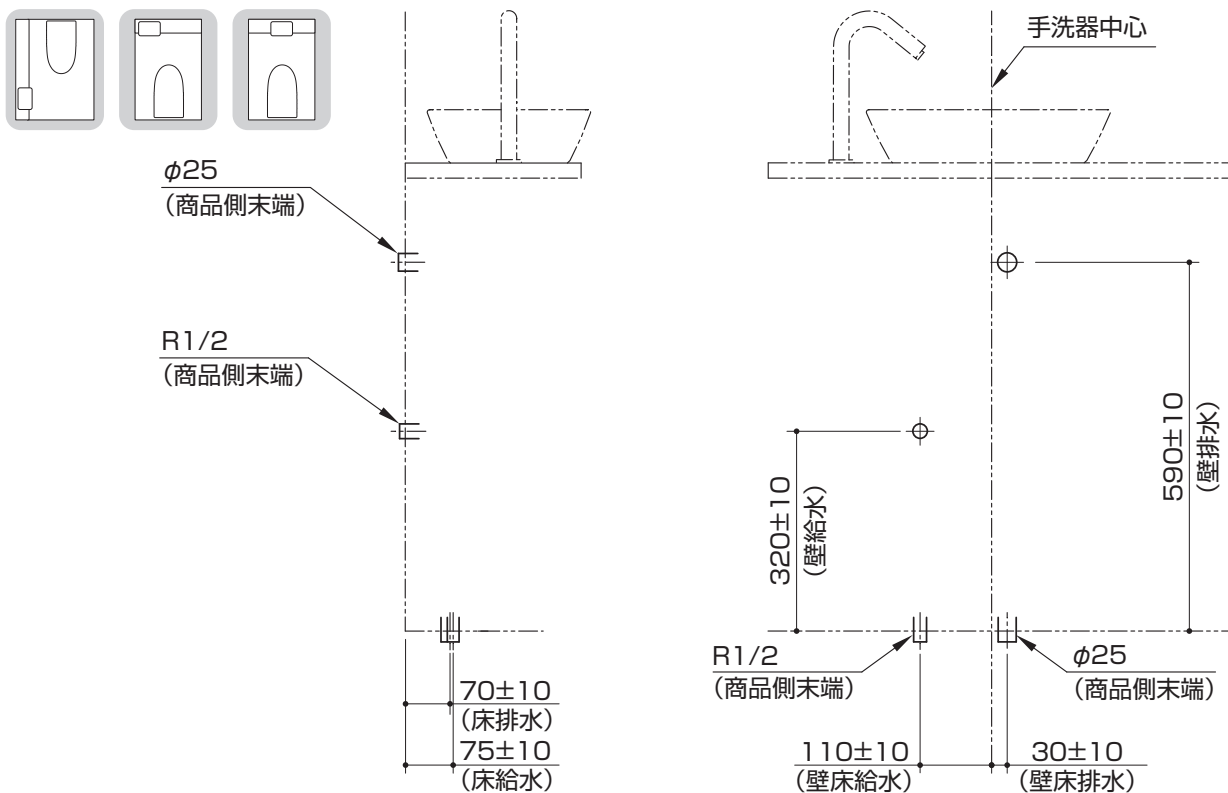
警告



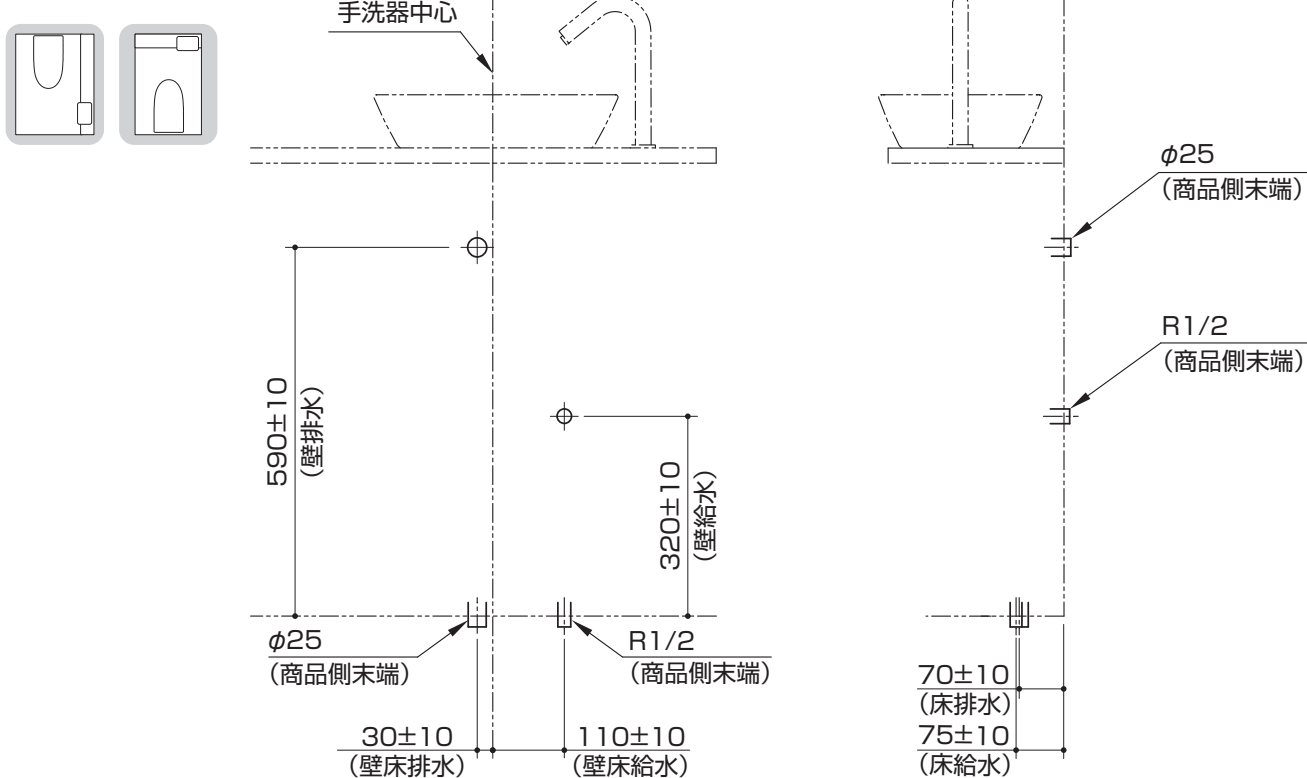
器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

禁止

【左勝手・中央】



【右勝手】



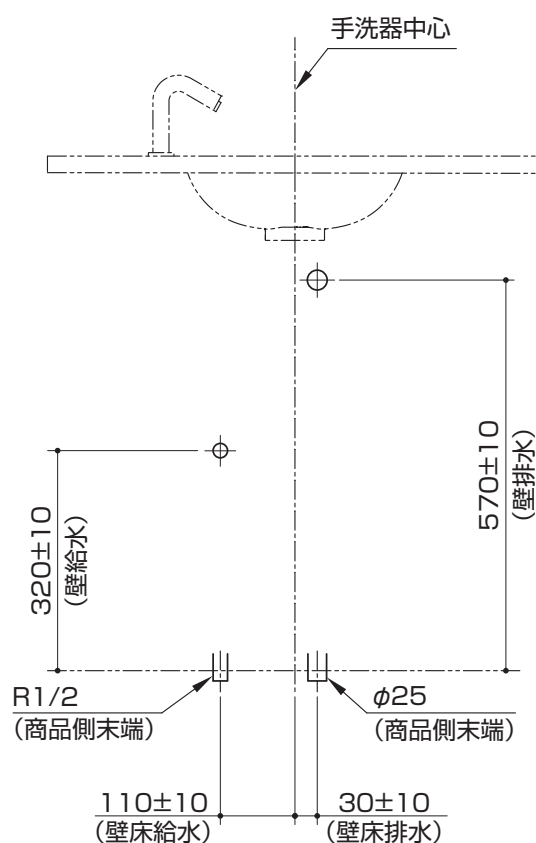
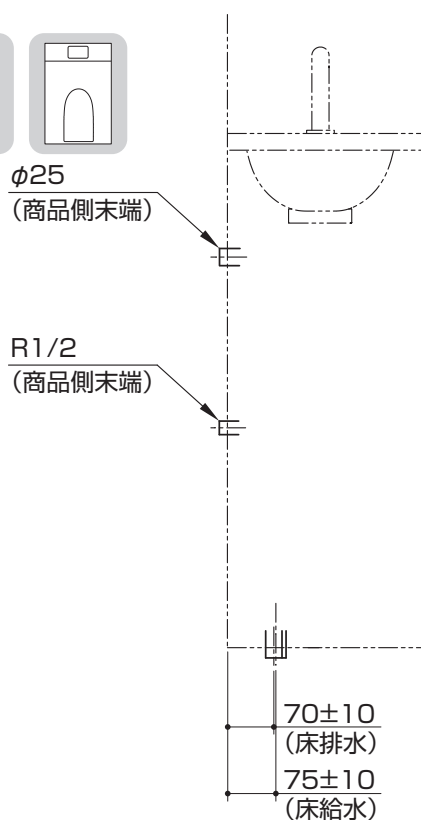
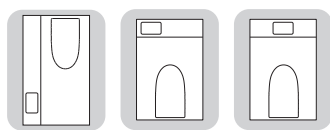
警告



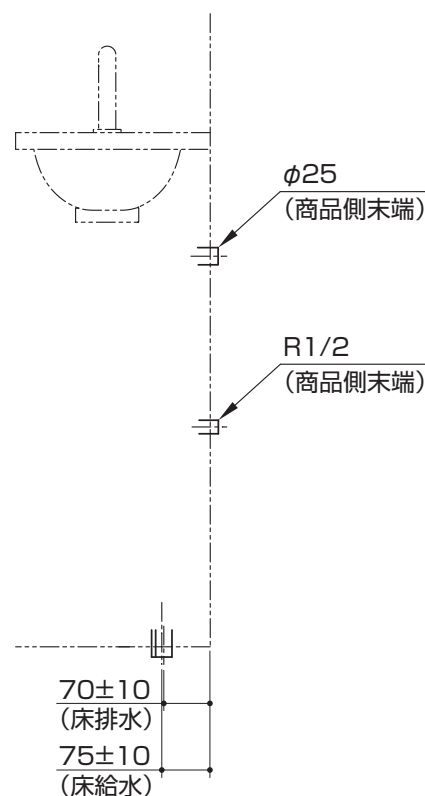
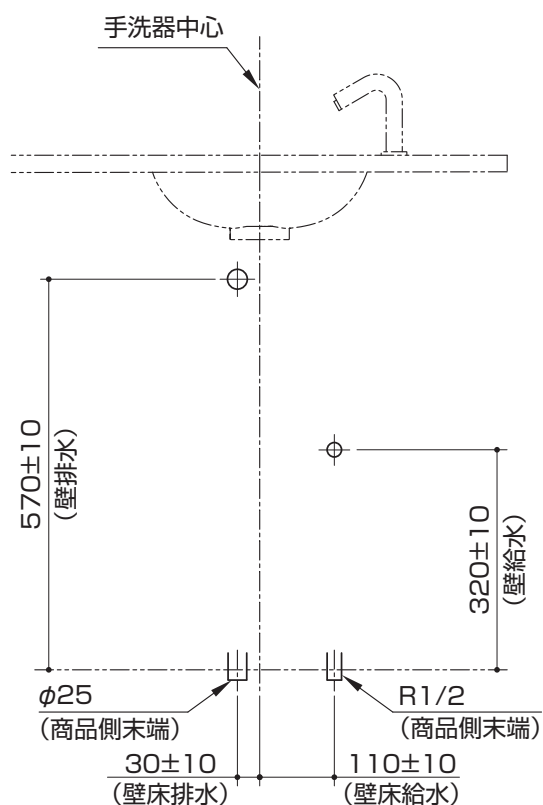
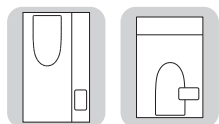
器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

ボウル一体タイプ

【左勝手・中央】



【右勝手】



警告



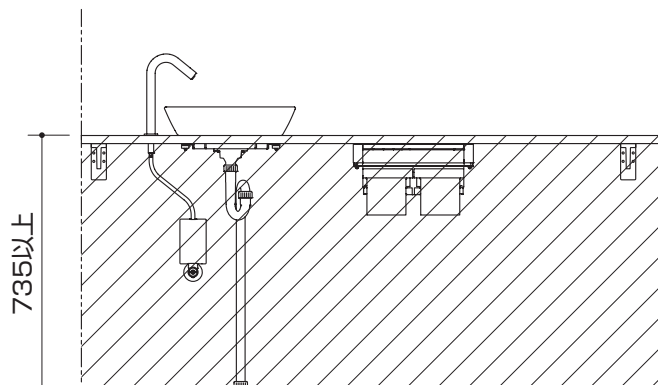
器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

3 補強材位置(必ず入れる)

ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
[URL]
<https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/default.htm>

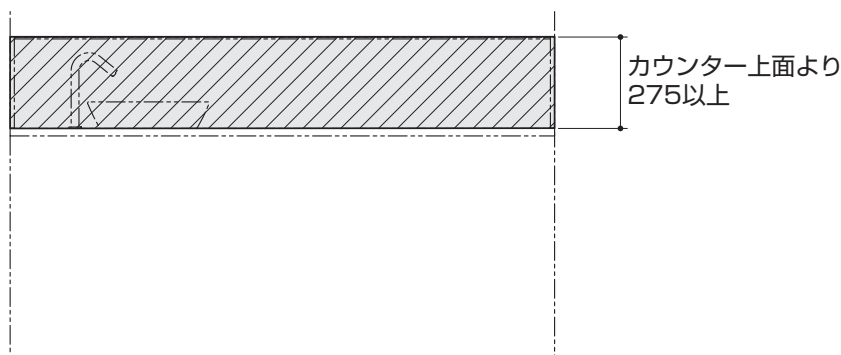


- ・ 建築工事(別途工事)にて、手洗器およびカウンター、周辺部材の壁取付面には、あらかじめ t12 以上の合板 (JAS 規格相当品)を入れておいてください。(右図斜線部) 合板は受木または間柱などに固定してください。
- ・ タイル・コンクリート壁の場合は、固定ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んで固定してください。(アクセントパネルの場合を除く)



アクセントパネルを設置する場合

- ・ 取付可能壁下地は、t12 以上の合板 (JAS 規格相当品)のみです。
例えば、以下の壁下地にはアクセントパネルを取り付けることはできません。
[取り付けできない壁下地の例] 石膏ボード・タイル壁、コンクリート壁
- ・ 壁下地の範囲は下図のとおりです。壁下地の合板は両端を受木または間柱などにしっかりと固定してください。
- ・ クロスが既に張られている場合には、アクセントパネル外寸法より 10mm 程度内側の範囲をはがしてください。



4 電気工事

各器具および大便器の消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。

器 具		定格消費電力	定格電源
電気温水器		505W ※2	AC100V (50/60Hz)
ビルトインリモコン		待機時2W(作動時5W)	
自動水栓		待機時0.4W(最大3W)	
		作動時0.6W(最大5W)	
照明付化粧鏡		8.6W	
専用 大便器 ※1	ネオレストNX (レストルームドレッサー専用品)	一般地1281W	
	ネオレストAHW/RHW (レストルームドレッサー専用品)	一般地1379W (寒冷地1419W)	

※1 一般地：流動方式兼用
寒冷地：ヒーター付便器・水抜併用方式

※2 沸上がり温度約38℃、タンク容量約1L、元止め式の場合

・上表の各器具以外の電気器具を設置する場合は消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。

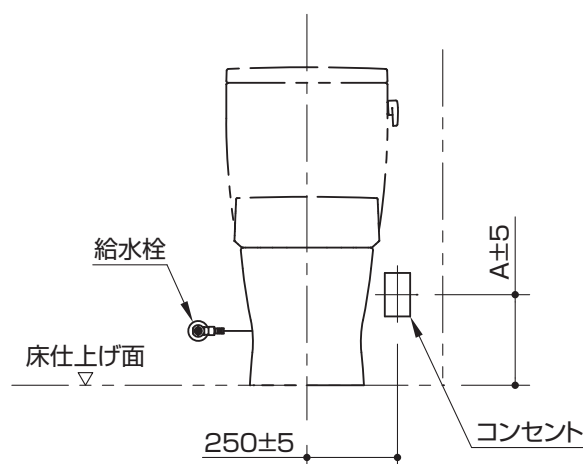
5 コンセント位置

大便器側（参考）

本商品と組み合わせるウォシュレット用のコンセントは、大便器を挟んで給水栓と反対側に接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式1口コンセントを設置してください。

※ピュアレストEXおよびQR(ヒーター付便器・水抜併用方式)にウォシュレットを設置する場合は、接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを設置してください。

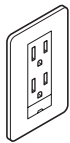
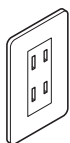
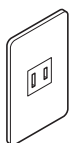
※FDを設置する場合は、FDの施工説明書をご確認ください。



大 便 器	A
ネオレスト AH/AHW・RH/RHW・DH (床排水・壁排水後ろ抜き)	250
ネオレスト AH/AHW・RH/RHW・DH (壁排水左右抜き)	350
ネオレストNX	250
GG	250
ピュアレストEX・QRなど	250

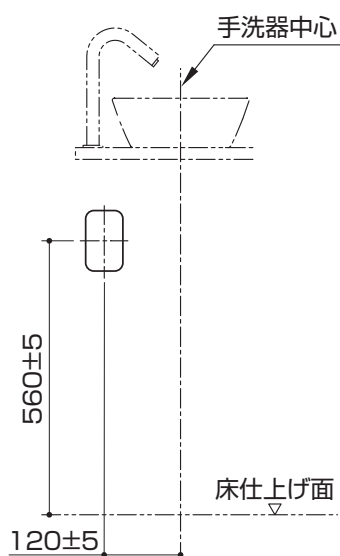
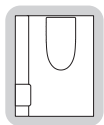
手洗器側

自動水栓・電気温水器・ビルトインリモコンを設置する場合は図を参照し、本商品を施工前に壁仕上げのうえコンセントを壁仕上げ面に設置してください。

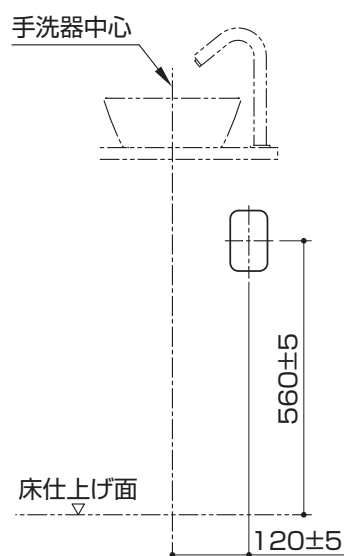
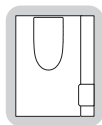
コンセント	設置機器		
	自動水栓	電気温水器	ビルトインリモコン
接地用端子の付いた 接地極付きの壁埋込式 2口コンセント 	○	○	○
	○	○	—
壁埋込式2口コンセント 	○	—	○
壁埋込式1口コンセント 	○	—	—
	—	—	○

Mサイズ

【左勝手】



【右勝手】



警告



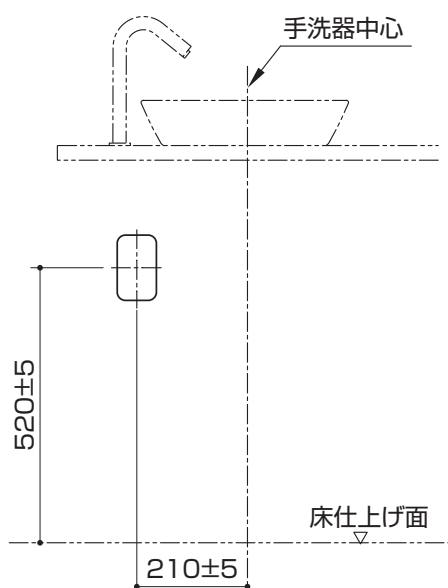
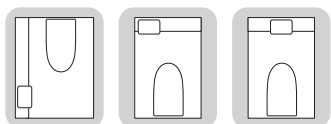
禁止

器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

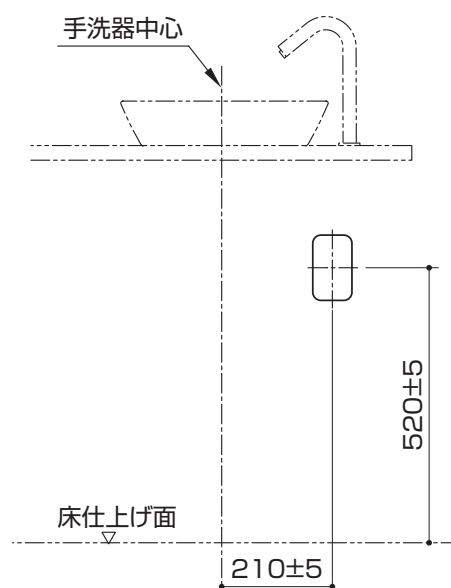
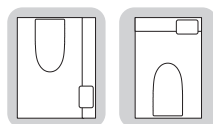
Lサイズ

ベッセルタイプ(丸形)・ベッセルタイプ(角形)・ボウル一体タイプとも共通です。(図はベッセルタイプ(角形))

【左勝手・中央】



【右勝手】



警告

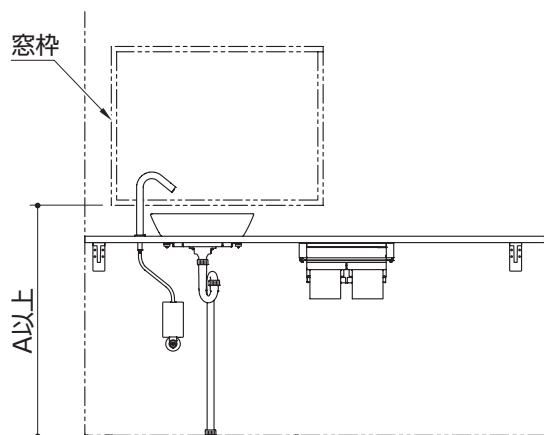


禁止

器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

6 窓枠

- ・窓がある場合、下図のような制約が付きます。事前に商品と干渉しないことをご確認ください。
- ・周辺部材(鏡・バックパネル・手すり・壁付け石けん受け等)の取り付けに関しては、各説明書をご参照ください。



タイプ			A
アクセント パネルあり	Mサイズ	ベッセルタイプ(角形)	1075
	Lサイズ	ベッセルタイプ(丸形/角形)	
		ボウル一体タイプ	
	手洗器なし		
アクセント パネルなし	Mサイズ	ベッセルタイプ(角形)	890
	Lサイズ	ベッセルタイプ(丸形/角形)	
		ボウル一体タイプ	790
	手洗器なし		

※図はLサイズベッセルタイプ(角形)

7 必要工具

一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してから施工を始めてください。



のこぎり



小型のこぎり



シリコン系
シーラント



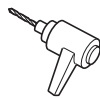
TZ工具
(品番:TZY15N)



カッター



電動ドライバー
(+) 65mm
#2ビット・#3ビット
(+) 200mm
#2ビット・#3ビット



電動ドリル用キリ
φ3



ドライバー
(+) 65mm
#2ビット
(+) 200mm
#2ビット

MEMO

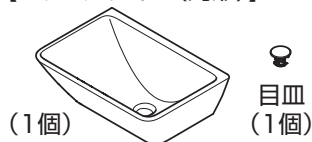
3. 部品の確認

- ・包装箱の内容は左勝手を基本として記載しています。
- ・◆マークの付いた部品はその他部材を詰め合わせた箱に入っています。

手洗器

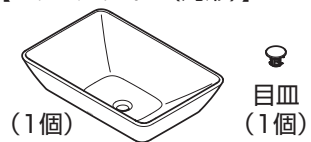
Mサイズ

【ベッセルタイプ(角形)】

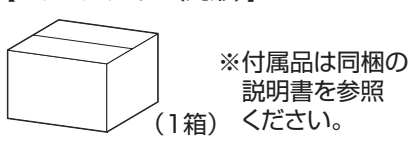


Lサイズ

【ベッセルタイプ(角形)】



【ベッセルタイプ(丸形)】



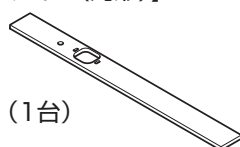
【ボウル一体タイプ】



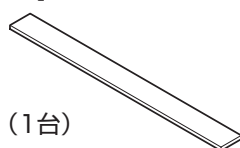
カウンター

Mサイズ

【ベッセルタイプ(角形)】

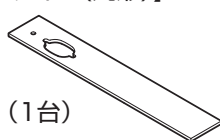


【手洗器なし】

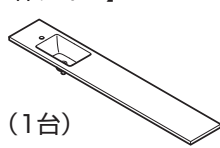


Lサイズ

【ベッセルタイプ(丸形)】



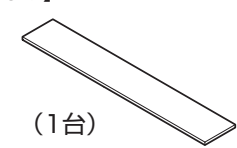
【ボウル一体タイプ】



【ベッセルタイプ(角形)】



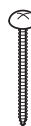
【手洗器なし】



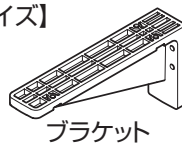
ブラケットセット

木質製カウンター・マーブライトカウンター

【Mサイズ】



【Lサイズ】

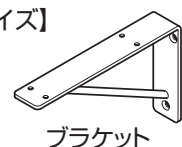


クリスタルカウンター

【Mサイズ】



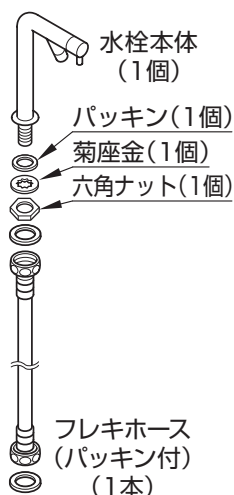
【Lサイズ】



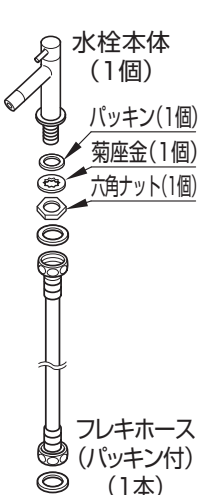
水栓金具 ほか(プランによって同梱内容は異なります)

◆ハンドル式水栓

【ベッセルタイプ(丸形/角形)】

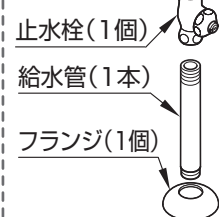


【ボウル一体タイプ】

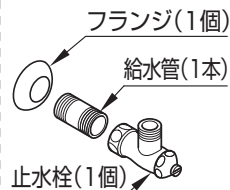


止水栓

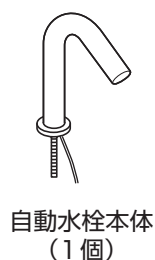
【床給水仕様】



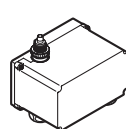
【壁給水仕様】



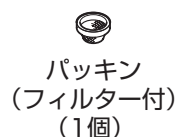
◆自動水栓



【寒冷地】



機能部 (1個)



パッキン (フィルター付) (1個)

〈壁給水仕様〉



給水管 (1本) フィルター付専用止水栓 (1個)

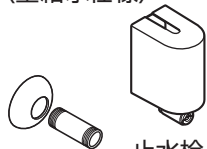
〈床給水仕様〉



給水管 (1本) フィルター付専用止水栓 (1個)

【一般地】

〈壁給水仕様〉

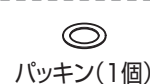


止水栓 (機能部付) (1個) 給水管 (1本)

〈床給水仕様〉



フィルター付専用止水栓 (1個) 給水管 (1本)



パッキン (1個)



機能部 (1個)

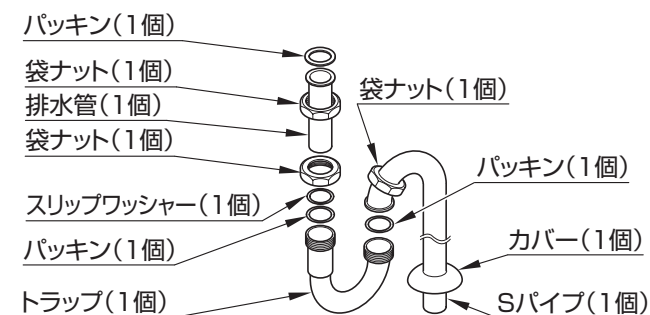
※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓 (フィルター付き) を取り付けてください。設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

排水トラップ(プランによって同梱内容は異なります)

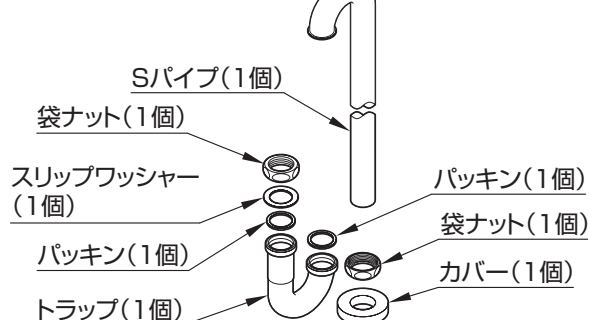
◆排水トラップ(床排水接続管)

※手洗器によって排水トラップが異なります。

【ベッセルタイプ(角形)・ボウル一体タイプ】



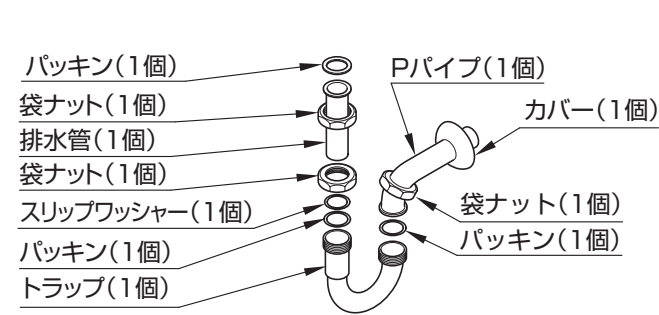
【ベッセルタイプ(丸形)】



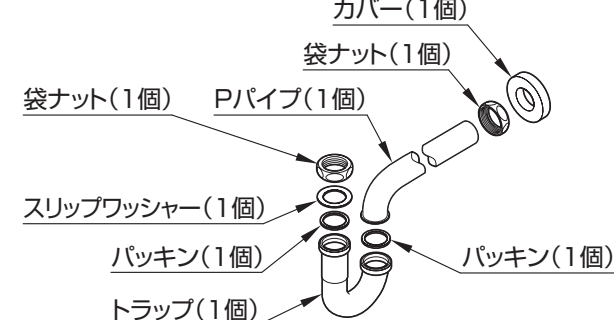
◆排水トラップ(壁排水接続管)

※手洗器によって排水トラップが異なります。

【ベッセルタイプ(角形)・ボウル一体タイプ】



【ベッセルタイプ(丸形)】



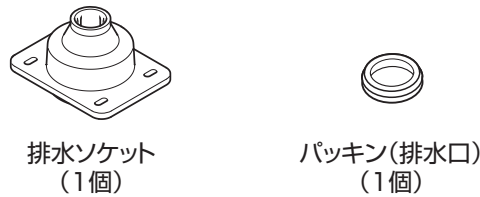
◆付属材セット(手洗器)

※ベッセルタイプ(角形)のみ



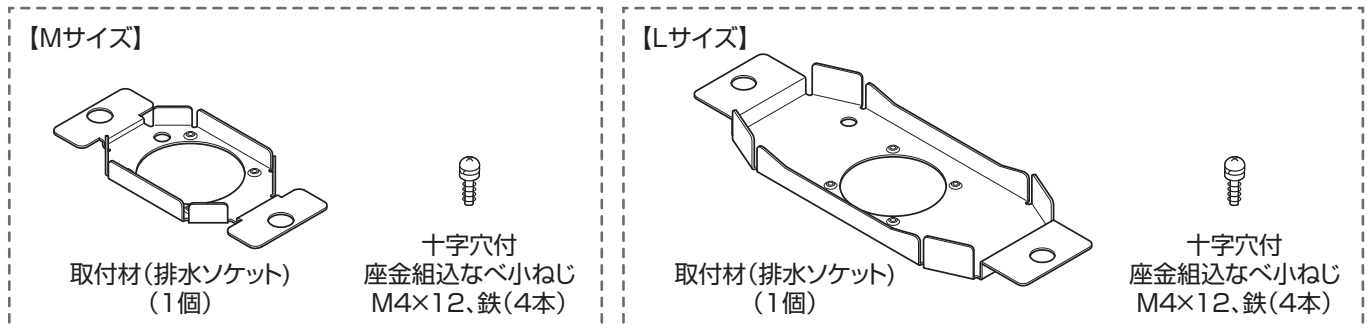
◆排水ソケットセット

※ベッセルタイプ(角形)のみ



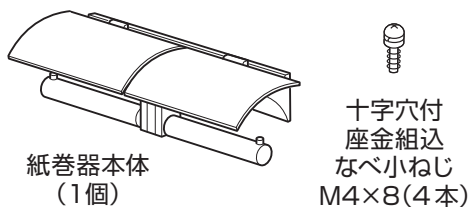
◆取付材セット(排水ソケット)

※ベッセルタイプ(角形)のみ



紙巻器

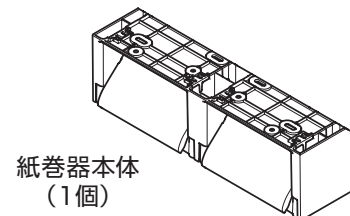
◆メタル製紙巻器



【下記の部品は使用しません】



◆樹脂製紙巻器



ねじセット③



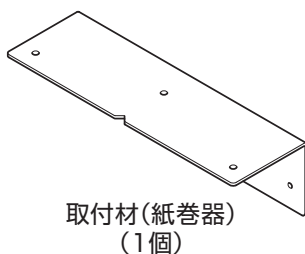
ねじセット④



※ねじセットの番号は各袋に記載の番号です。

◆取付材(紙巻器)

※メタル製紙巻器でビルトインリモコンを設置しない場合のみ



説明書 ほか

◆施工説明書

施工説明書

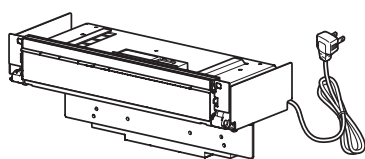
本書
(1冊)

◆取扱説明書

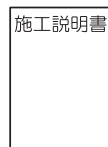
取扱説明書

取扱説明書
(1冊)開閉工具
(1個)

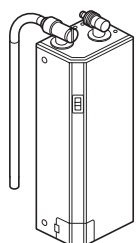
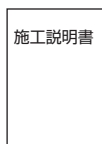
ビルトインリモコン(選択商品)

ビルトインリモコン
(1個)

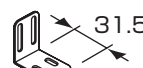
化粧板(2枚)

十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×10(2本)施工説明書
(1冊)

電気温水器(選択商品)

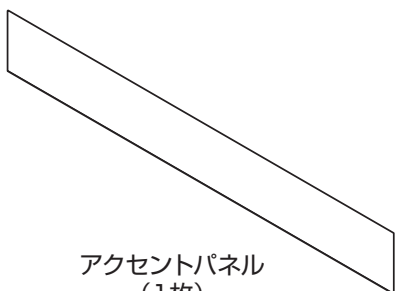
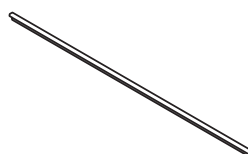
電気温水器本体
(1台)固定アングル1
(2個)化粧ラベル
(1枚)十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×10(4本)
(固定アングル用)十字穴付
なべタッピンねじ
4×30(4本)
(壁固定用)取扱説明書
(1冊)施工説明書
(1冊)L=300
排水ホース
(1本)

【下記の部品は使用しません】

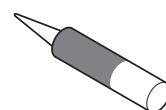
固定アングル2
(1個)十字穴付
なべ小ねじ
M4×5(2本)
(スペーサー取付用)スペーサー
(1個)

アクセントパネル(オプション)

アクセントパネル

アクセントパネル
(1枚)フレーム
(アクセントパネル)
(2本)
※左右共通フレーム
(アクセントパネル)
(1本)

付属材セット(アクセントパネル)

両面テープ
(1個)接着剤
(1本)

手順編

0. 施工前の準備	▶28
1. 給水管・止水栓	▶29
2. ブラケット・カウンター	▶30
3. ビルトインリモコン	▶32
4. アクセントパネル(オプション)	▶33
5. 手洗器・水栓金具	▶38
6. フレキホース・電気温水器	▶43
7. 排水トラップ	▶46
8. 紙巻器	▶47
9. 試運転・確認	▶50
10. シリコン系シール剤	▶53
11. ビルトインリモコンの組み合わせ設定	▶54
12. 照明付化粧鏡の動作確認	▶57

マーク表示について



寒冷地仕様の場合を示します。



電動ドライバー
使用禁止です。
手締めしてください。



カットして
ください。



穴を開けてください。
(例: φ35~40)



測定してください。



下穴
下穴を開けてください。
(例: φ3の場合)



シール
シールテープを
巻いてください。



接着剤
接着剤を塗布して
ください。



両面テープ
両面テープを
張ってください。



脱脂
脱脂用アルコールで
脱脂してください。



けがき



けがき

けがきを
してください。



水平確認



垂直確認

水平器で水平・垂直
確認してください。



塗布

塩ビ用接着剤を
塗ってください。

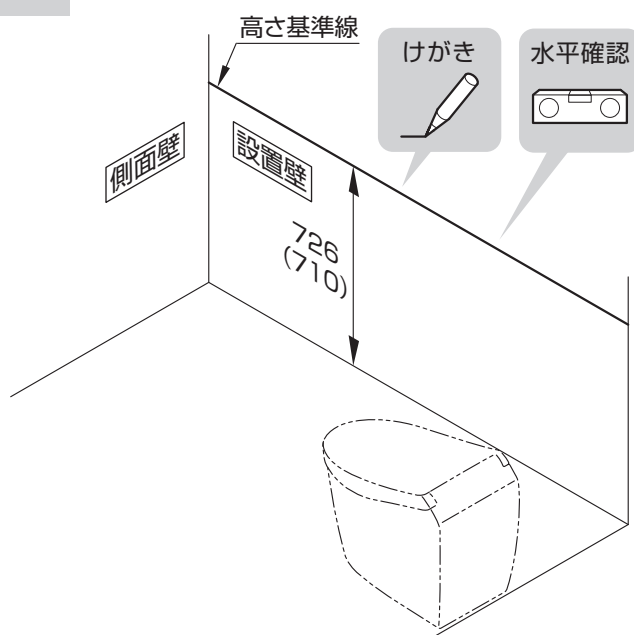
0. 施工前の準備

レイアウト図または以下の情報をもとに、設置位置の基準をご確認のうえ、けがいてください。

けがく際のご注意

商品取付後に、けがき線が露出しないよう、ご注意ください。
また、鉛筆など後で消せるものでけがいてください。

1 高さ基準線のけがき



※()寸法はクリスタルカウンターの場合

MEMO

1.給水管・止水栓

手洗器なしの場合はP.30へ

1 止水栓の取り付け

① 給水管内を清掃する

取り付ける前に必ず給水管内のゴミ、砂などを完全に洗い流す。

※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓を取り付けてください。

⚠ 注意



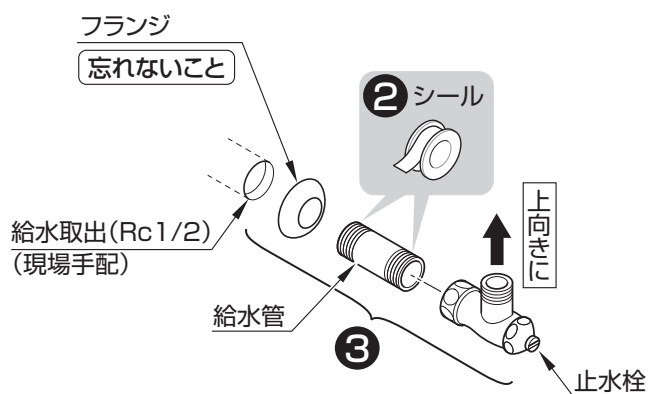
必ず守る

シールテープを必ず巻くこと
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

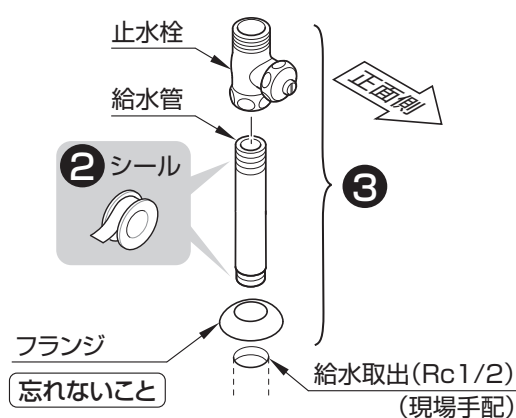
ハンドル式水栓の場合

※図はベッセルタイプ(角形)、ポウルー体の場合

壁給水の場合



床給水の場合



自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書を参照してください。

MEMO

2. ブラケット・カウンター

カウンターの水平について

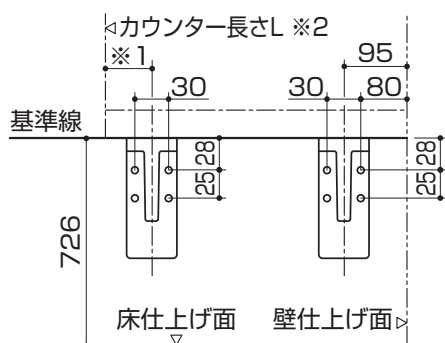
ブラケットおよびカウンターが水平となるように、同梱のスペーサーで必ず調整してください。
壁仕上げの状態(垂直、目地、鏡面など)によって、カウンターの見ばえに影響が出ることがあります。

1 ブラケットの取り付け

① ブラケットを下図の位置にあわせる

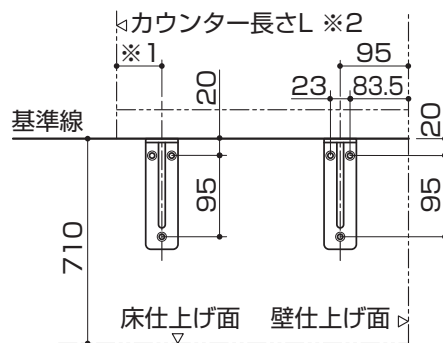
側面設置の場合

クリスタルカウンター以外の場合

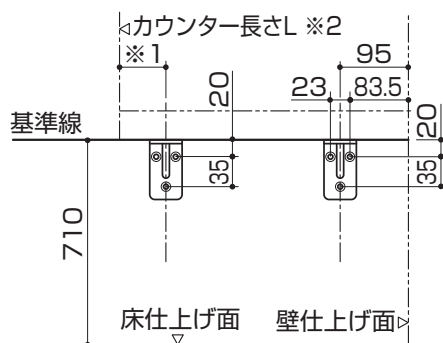


クリスタルカウンターの場合

[Lサイズ]



[Mサイズ]



※1 カウンター長さ、エプロン形状によってブラケット取付位置が異なります。
下表位置に取り付けてください。

		カウンター長さ 1429以下	カウンター長さ 1430～1519以下	カウンター長さ 1520以上
Mサイズ	1方エプロン※3	95	55	90
	2方エプロン	100		

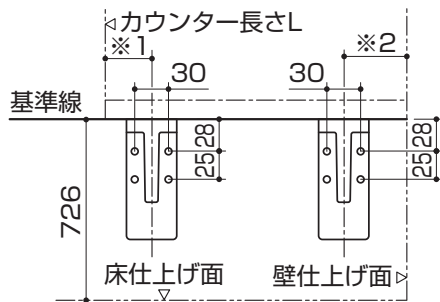
		カウンター長さ 1789以下	カウンター長さ 1790以上
Lサイズ	1方エプロン※3	55	90
	2方エプロン		

※2 立管の場合、カウンター長さLはカウンター+立管になります。

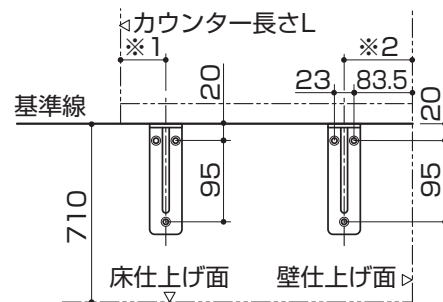
※3 1方エプロンの場合は表寸法+5でがいてください。

対面設置の場合

クリスタルカウンター以外の場合



クリスタルカウンターの場合



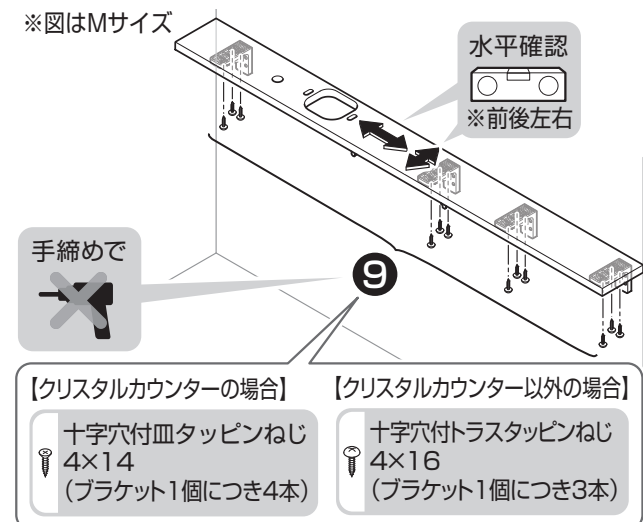
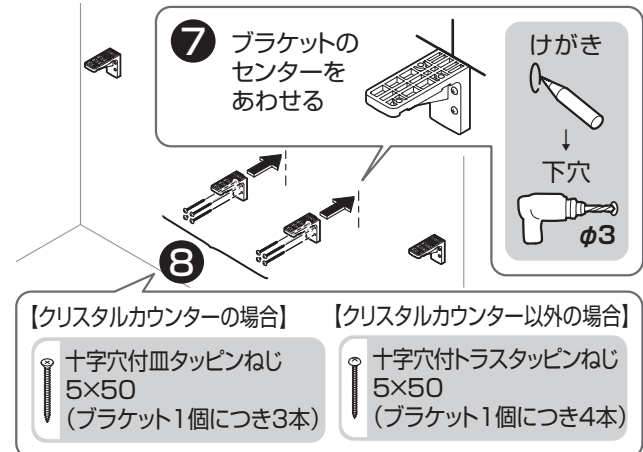
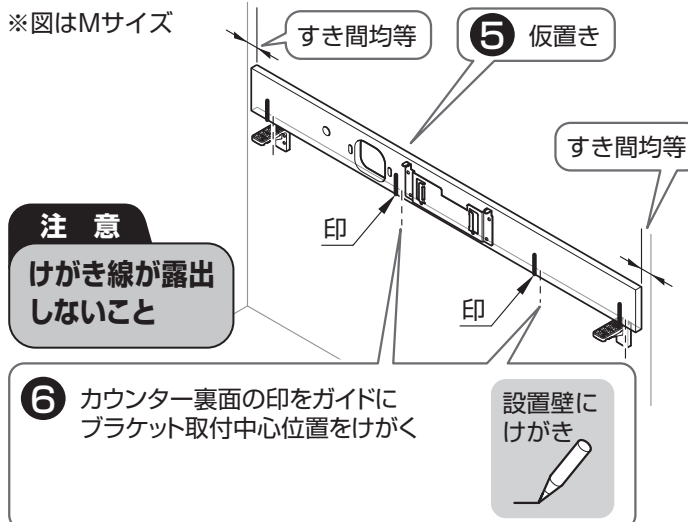
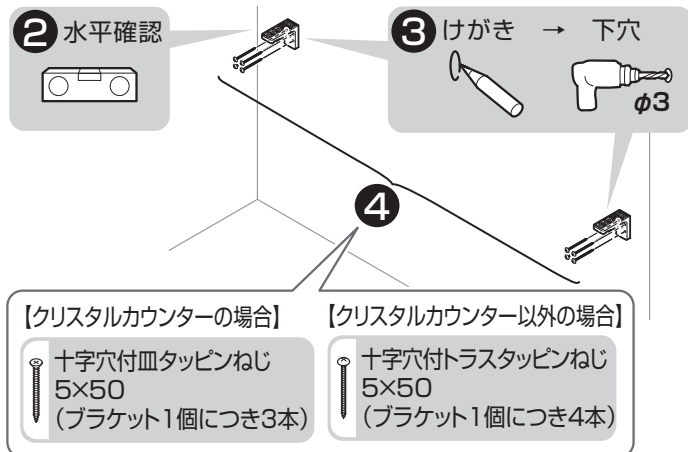
プラン図の情報をもとに設置位置をご確認ください。取付高さはブラケット上面を基準線にあわせてください。

※1 方エプロンの場合は表寸法+5でけがいてください。

※1 ※2 カウンター長さによってブラケット取付位置が異なります。下表位置に取り付けてください。

			※1	※2
左勝手		カウンター長さ 1219以下	55	70
		カウンター長さ 1220以上	55	90
右勝手		カウンター長さ 1219以下	55	70
		カウンター長さ 1220以上	55	90
中央		カウンター長さ 794以下	70	70
		カウンター長さ 795~844以下	95	95
		カウンター長さ 845以上	70	70

側面設置/対面設置の場合 共通

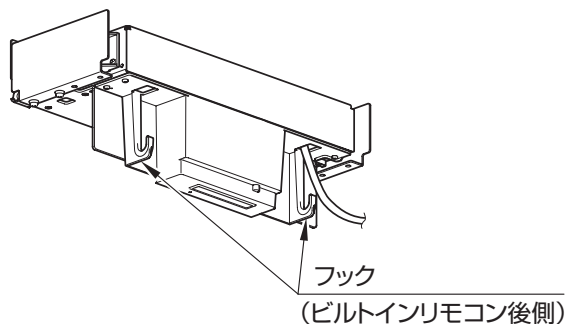


3.ビルトインリモコン

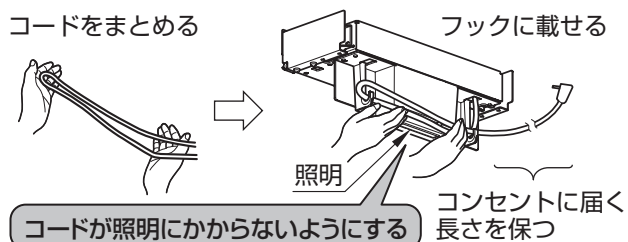
ビルトインリモコンなしの場合はP.33へ

1 ビルトインリモコンの取り付け

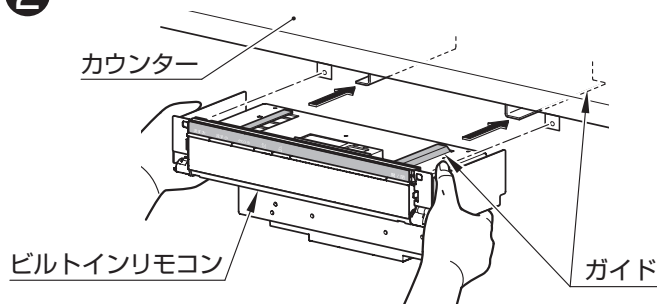
①



余ったコードはフックに載せる



②



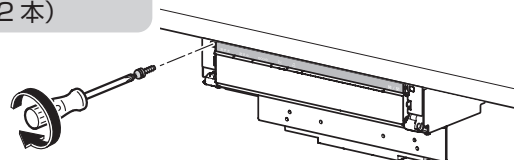
注意

ビルトインリモコンと化粧板は傷つきに注意する

③

十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×10(2本)

手締めで



注意

ねじはかたくなるまでしっかり締め付ける

④

化粧板

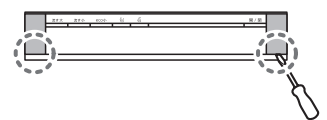
※裏にマグネット付

※化粧版が水平になっているか、すき間が均一か確認する



化粧板の外しかた

施工のやり直しなどで化粧板を取り外すときは、化粧板とビルトインリモコンのすき間にマイナスドライバーなどの工具を差し込み取り外す

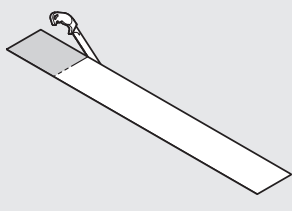


MEMO

4. アクセントパネル(オプション)

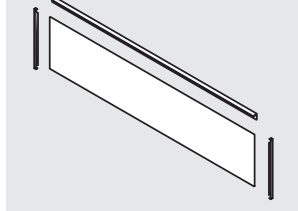
アクセントパネルなしの場合はP.38へ

1 アクセントパネル設置の準備



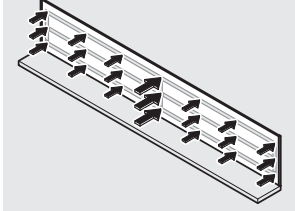
▶P.34

2 フレーム(アクセントパネル)の取り付け



▶P.36

3 アクセントパネルの取り付け



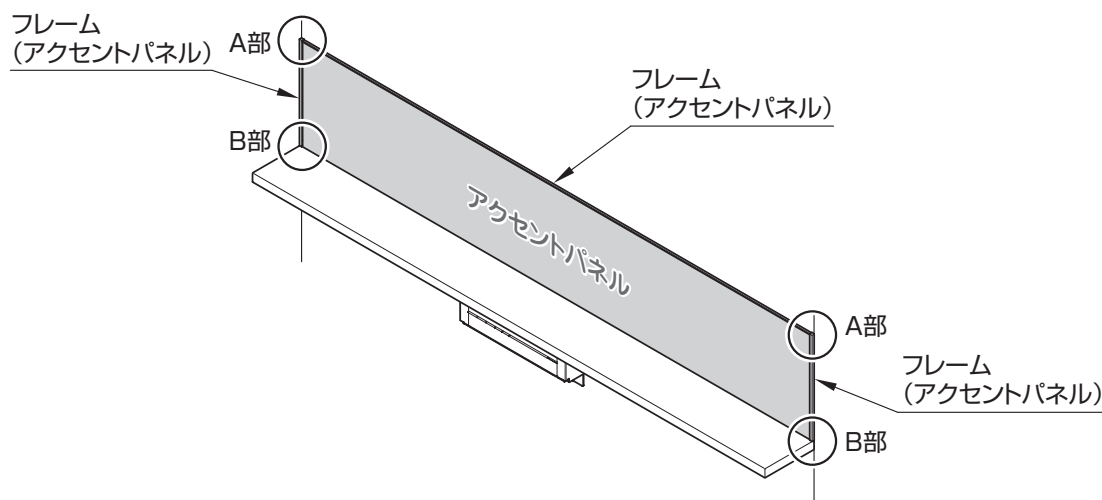
▶P.36

4 リモコンハンガー、手すり、ハンドグリップの取り付け



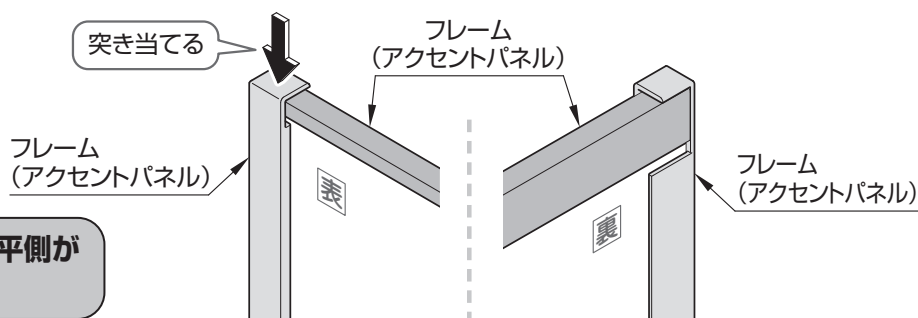
▶P.37

完成イメージ① 全体



※図はMサイズの場合

完成イメージ② A部

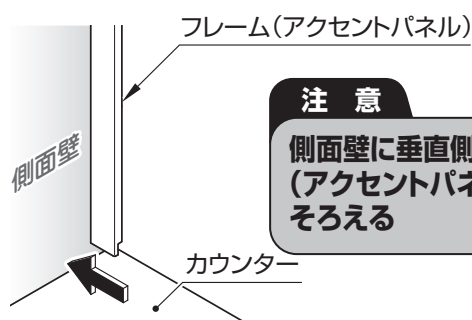


注意

フレーム(アクセントパネル)は水平側が垂直側に飲み込まれること

完成イメージ③ B部

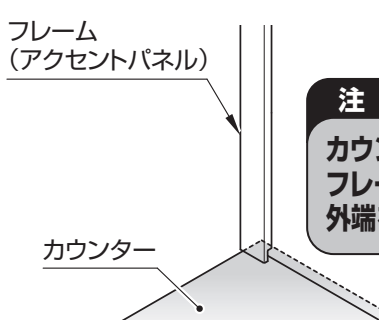
【側面壁と接する場合】



注意

側面壁に垂直側のフレーム(アクセントパネル)外端をそろえる

【側面壁と接しない場合】

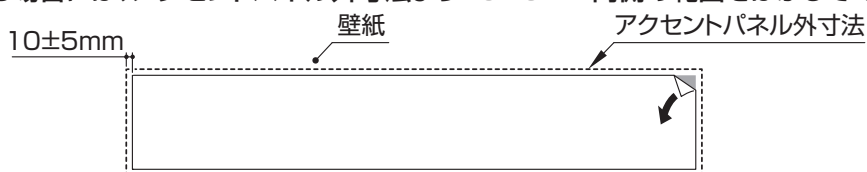


注意

カウンター端面に垂直側のフレーム(アクセントパネル)外端をそろえる

器具の取付前に

壁紙が既に張られている場合には、アクセントパネル外寸法より $10\pm5\text{mm}$ 内側の範囲をはがしてください。



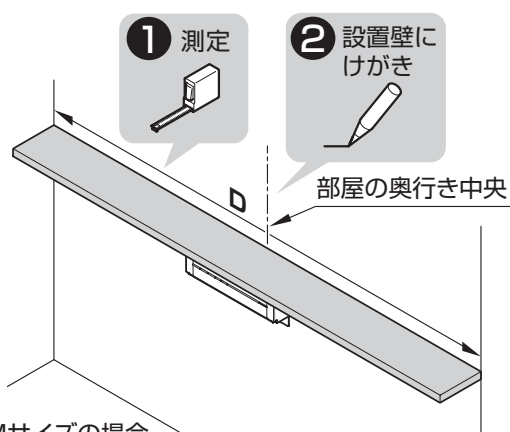
4

アクセントパネル
(オプション)

1 アクセントパネル設置の準備

1 方エブロンの場合

① 部屋の奥行きを測定する



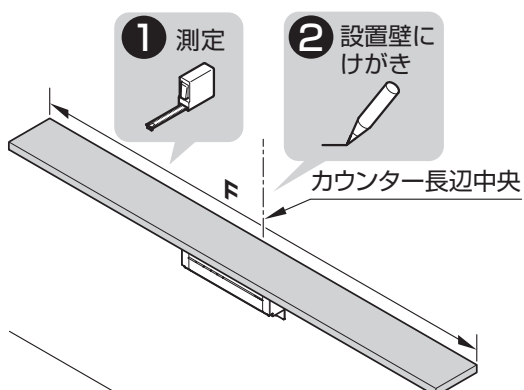
※図はMサイズの場合

③ アクセントパネルの長辺長さを計算する

部屋奥行き D	規定寸法	アクセントパネル 長辺長さE
	10	

2 方/3方エブロンの場合

① カウンターの長辺長さを測定する

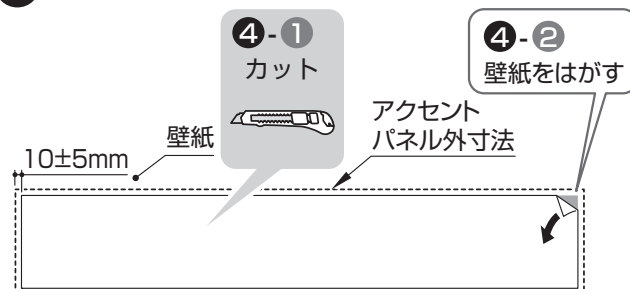


※図はMサイズの場合

③ アクセントパネルの長辺長さを計算する

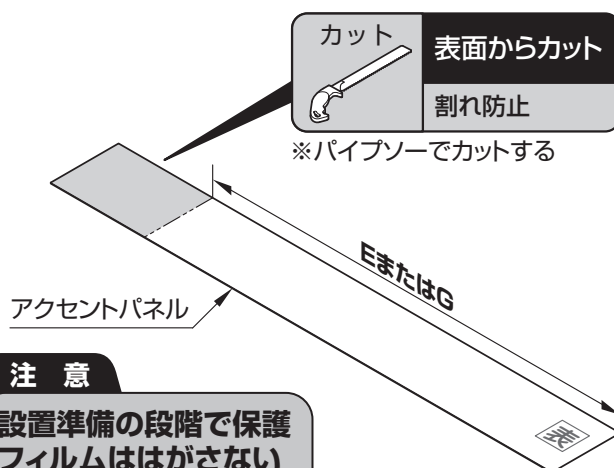
カウンター 長辺長さF	規定寸法	アクセントパネル 長辺長さG
	8	

④ 壁紙をはがす



※壁紙の裏打ち紙は可能な限りはがしてください。

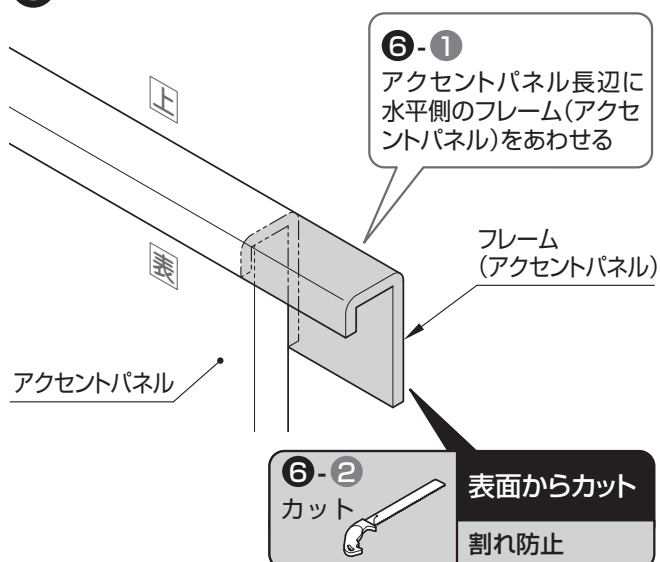
⑤ ③の長さにあわせて切断する



注意

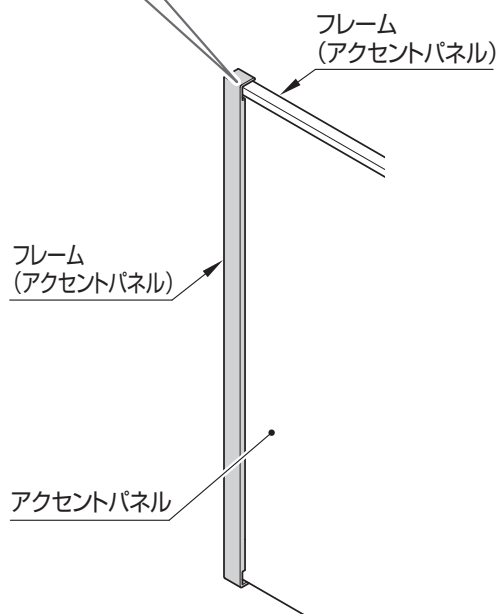
設置準備の段階で保護
フィルムははがさない

⑥ 水平側のフレーム(アクセントパネル)を切断する



⑦ 垂直側のフレーム（アクセントパネル）を切断する

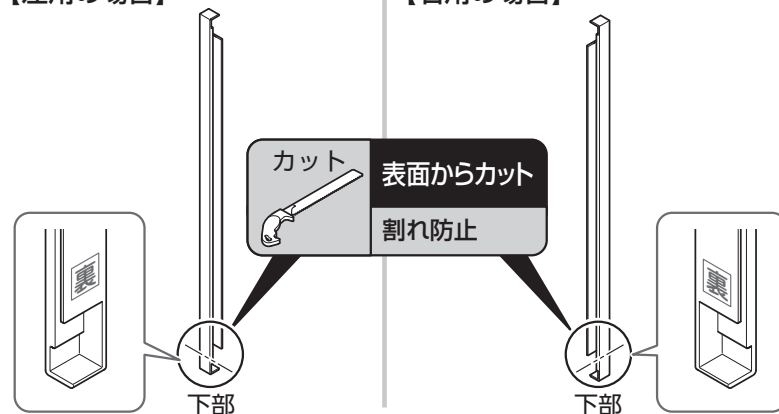
⑦-① アクセントパネル短辺に垂直側のフレーム（アクセントパネル）をあわせる



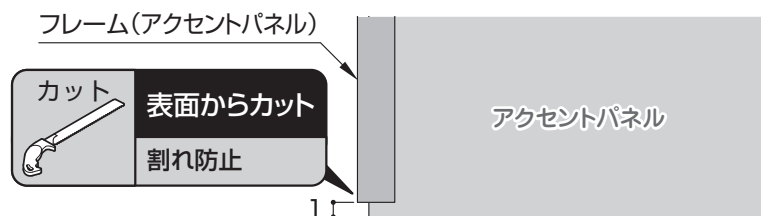
カット位置

【左用の場合】 上部

【右用の場合】 上部

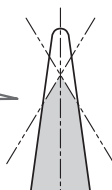


⑦-② アクセントパネル下端より1mm短く切断する

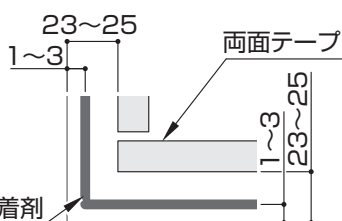
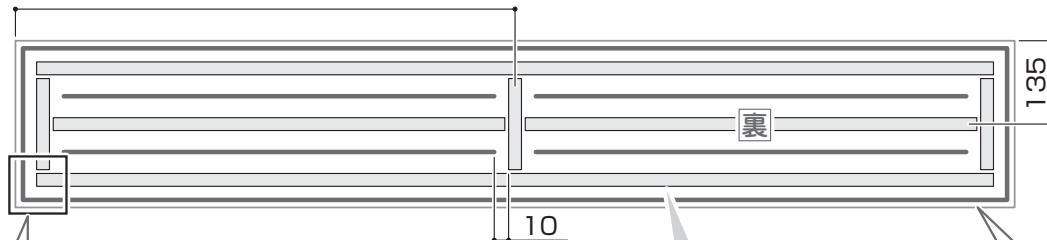


⑧ 接着剤のノズル先端を切断する

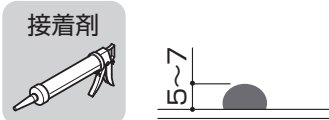
ノズル先端を2方向からカットすると、
接着剤の塗布量が一定になる



切断後のアクセントパネル本体の全長÷2



⑩ 接着剤の高さが5~7mmになるよう塗布する



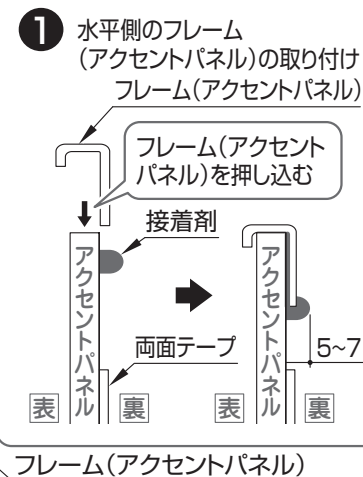
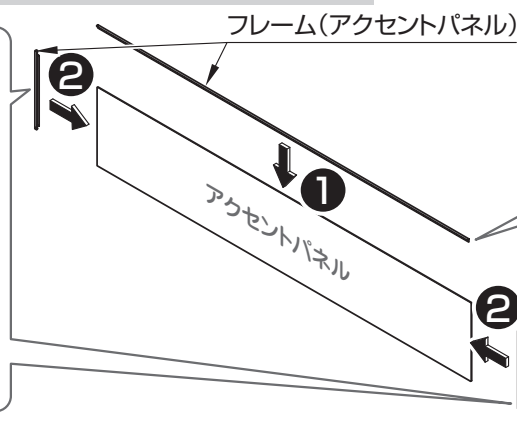
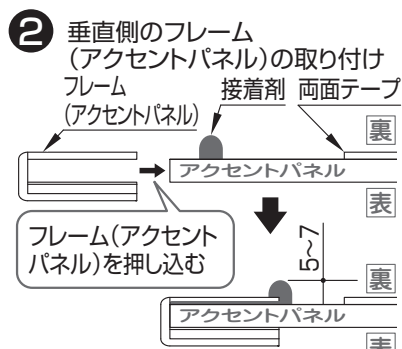
⚠ 注意



必ず守る

両面テープは重ならないように張り付ける
両面テープが重なるとアクセントパネルが壁から浮き、
外れるおそれがあります。

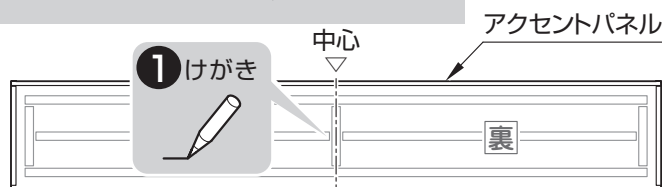
2 フレーム(アクセントパネル)の取り付け



注意

- ・フレーム(アクセントパネル)の押し込み後、接着剤の高さが5~7mmになっていない箇所は再度接着剤を塗布する
アクセントパネルが壁からはがれるおそれがあります。
- ・接着剤が両面テープの上に乗らないようにする
アクセントパネルが壁からはがれるおそれがあります。

3 アクセントパネルの取り付け



② 建築壁面のほこりを除去する

脱脂

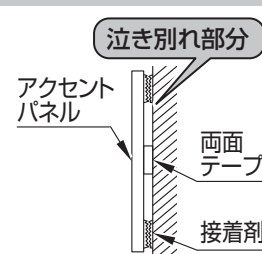


ほこり除去

接着力低下防止

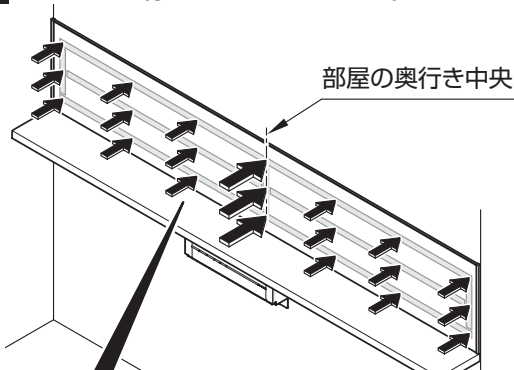
注意

- ・アクセントパネル中心と**①**でけがいた線を必ずあわせる(片側あわせしない)
垂直側のフレーム(アクセントパネル)で調整代が確保できず、垂直側のフレーム(アクセントパネル)と壁にすき間ができる、または、垂直側のフレーム(アクセントパネル)とカウンター端が揃わないおそれがあります。
- ・接着剤部を押さない
接着剤の泣き別れによりアクセントパネルが壁からはがれるおそれがあります。
- ・接着剤塗布後、30分以内に張り付ける
アクセントパネルが壁からはがれるおそれがあります。



1 方エブロンの場合

③ ①でけがいた線にアクセントパネル中心をあわせる

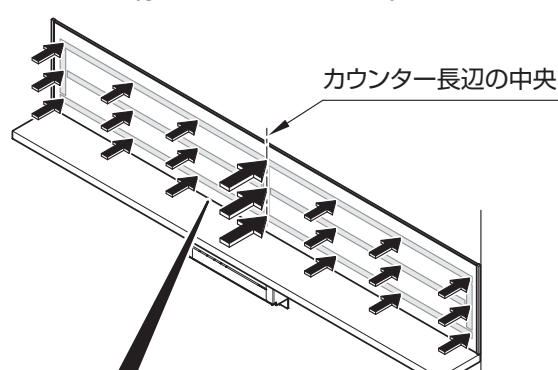


④ パネル取り付け

両面テープ部に沿ってしっかり押さえ付ける

2方/3方エブロンの場合

③ ①でけがいた線にアクセントパネル中心をあわせる



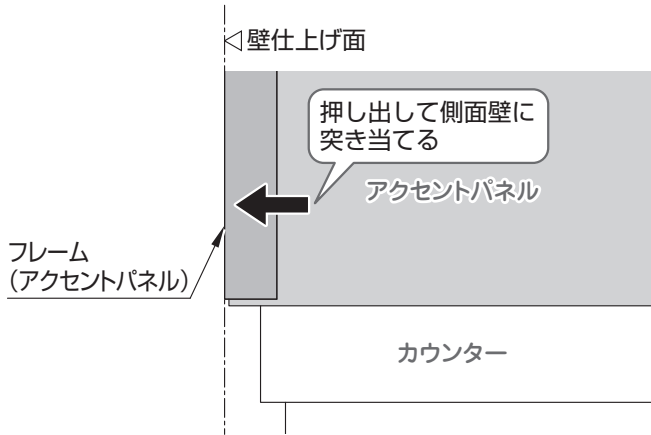
④ パネル取り付け

両面テープ部に沿ってしっかり押さえ付ける

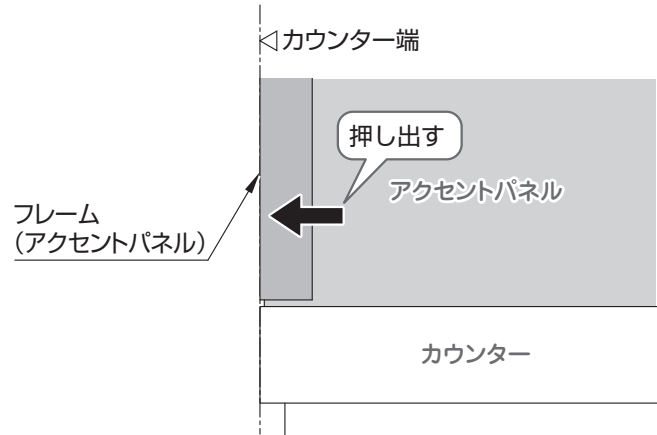
⑤ アクセントパネル表面の保護フィルムをはがす

⑥ 垂直側のフレーム(アクセントパネル)を調整する

側面壁と接する場合



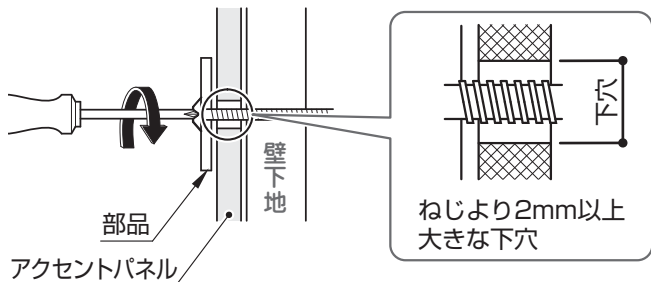
側面壁と接しない場合



⑦ フレーム(アクセントパネル)からはみ出した接着剤があればふき取る

4 リモコンハンガー、手すり、ハンドグリップの取り付け

① リモコンハンガー、手すり、ハンドグリップ用の穴を開ける



注意

- 下穴は固定ねじ径より大きく開ける
ねじ締め時にアクセントパネル表面にひびが入るおそれがあります。
- 下穴は壁下地まで貫通させない
ねじがきかなくなります。

② リモコンハンガー、手すり、ハンドグリップを取り付ける

リモコンハンガー

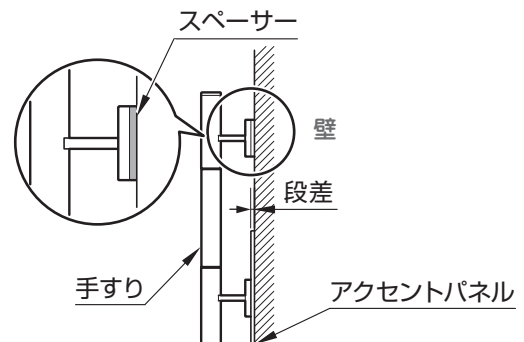
参照 ウォシュレットの施工説明書を参照してください。

注意

アクセントパネル本体内部にリモコン本体が収まるよう設置する
アクセントパネルをまたぐようにリモコン本体を設置すると、リモコン本体が外れるおそれがあります。

手すり

参照 手すり、スペーサーの施工説明書を参照してください。



注意

段差を解消するため、スペーサーを必ず入れる
アクセントパネルの厚み分の段差が生じ、手すりが外れるおそれがあります。

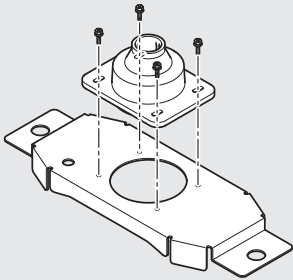
ハンドグリップ

参照 ハンドグリップの施工説明書を参照してください。

5.手洗器・水栓金具

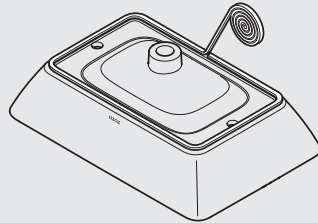
手洗器なしの場合はP.47へ

1 排水ソケットの組み付け



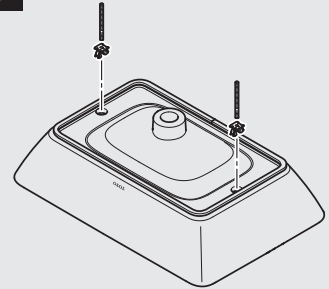
▶ P.39

2 クッション材の張り付け



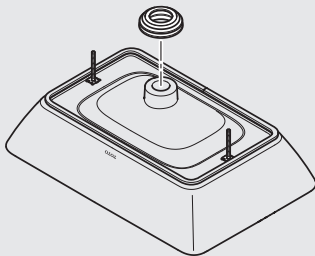
▶ P.39

3 手洗器の組み立て



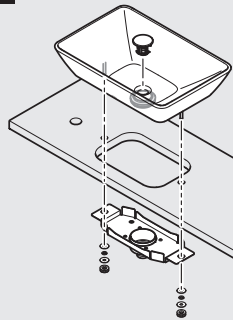
▶ P.40

4 パッキン(排水口)の取り付け



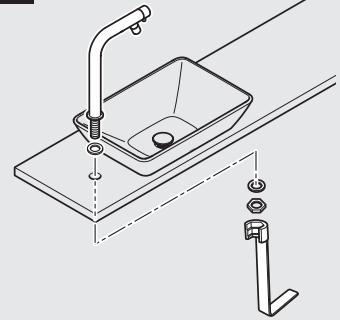
▶ P.40

5 手洗器の取り付け



▶ P.41

6 水栓金具の取り付け

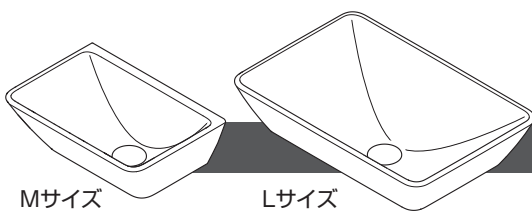


▶ P.42

手洗器の種類と、手順を確認して施工してください。

※手洗器の種類で手順が異なります。

手洗器、各手順について

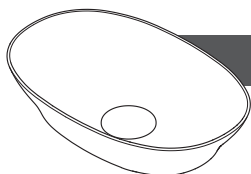


Mサイズ

Lサイズ

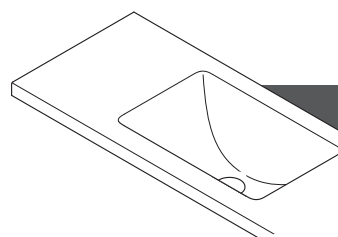
ベッセルタイプ(角形)(M サイズ / L サイズ)の場合

1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6



ベッセルタイプ(丸形)の場合

2 ▶ 3 ▶ 5 ▶ 6



ボウル一体タイプの場合

5 ▶ 6

1 排水ソケットの組み付け

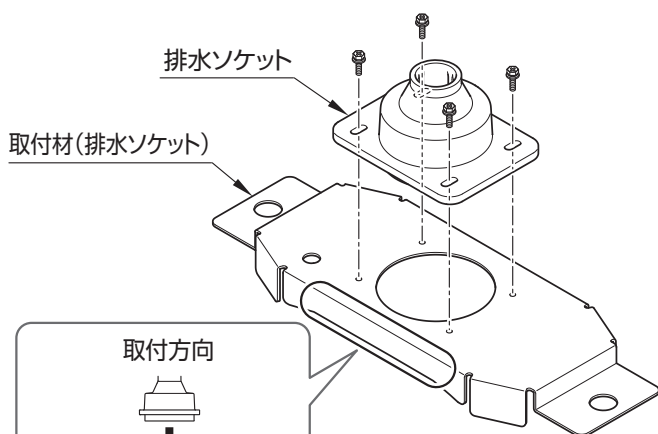
ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ/Lサイズ)の場合

※図はLサイズの場合

手締めで



十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×12、鉄(4本)



必ず守る

取付後、排水ソケットと取付材(排水ソケット)の間にすき間がないことを確認する

水漏れして家財などをめらす財産損害の発生の原因になります。

2 クッション材の張り付け

① 張り付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る

② クッション材のセパレータをはがしながら、右記の位置にクッション材を張り付ける

注意

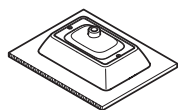


必ず守る

クッション材の張り付けは確実に行う
水などが浸入してコンセントにかかり、
火災や感電の原因となります。

注意

- 手洗器上面を下側にする際は、段ボールなどを敷く手洗器に傷が付かないようにしてください。
- 手洗器の内側コーナー部にあわせて張り付ける
設置後にクッション材がはみ出すことがあります。



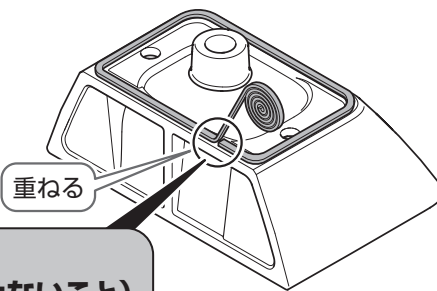
クッション材
内側コーナー部にあわせる

ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ)の場合

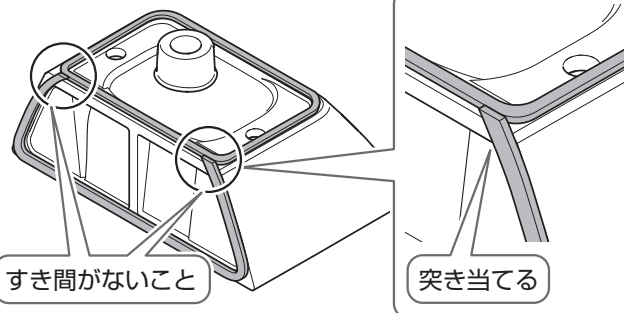
②-① 底面全周に張り付ける

注意

繋ぎ目は裏側
(すき間をあけないこと)



②-② 背面に張り付ける



ベッセルタイプ(丸形)の場合

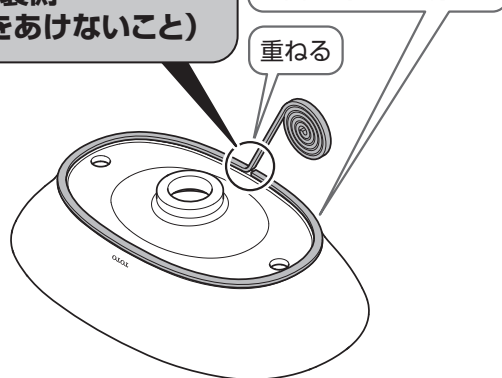
参照 同梱の施工説明書を参照してください。

注意

繋ぎ目は裏側
(すき間をあけないこと)

底面全周に張り付ける

重ねる



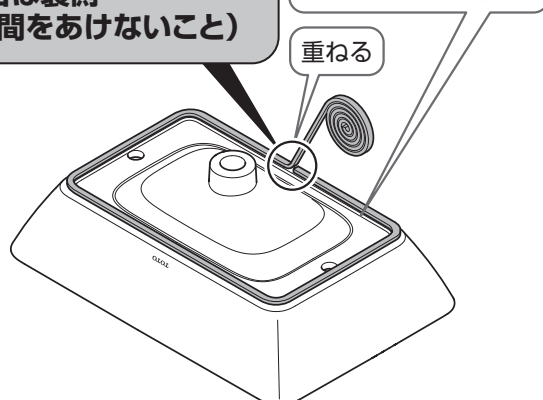
ベッセルタイプ(角形)(Lサイズ)の場合

注意

繋ぎ目は裏側
(すき間をあけないこと)

底面全周に張り付ける

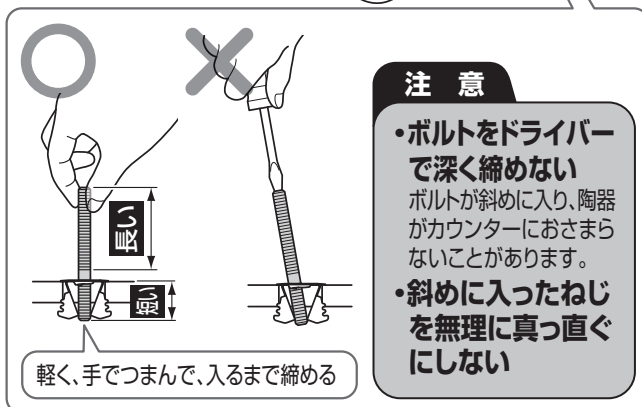
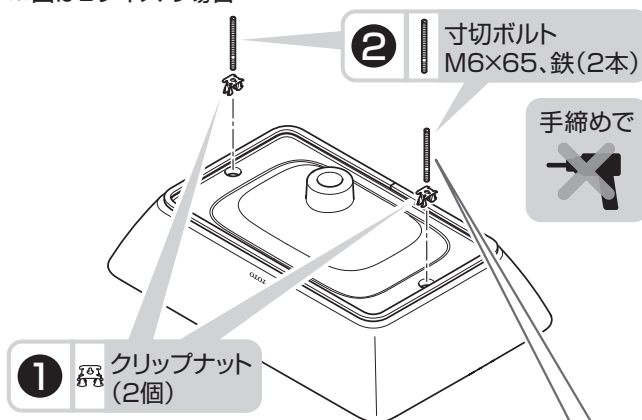
重ねる



3 手洗器の組み立て

ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ/Lサイズ)の場合

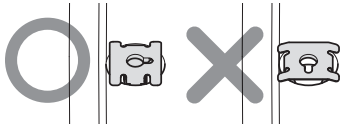
※図はLサイズの場合



注意

• 平らな面にクリップナットを取り付ける

クリップナットが奥まで入らず、手洗器に適合しません。



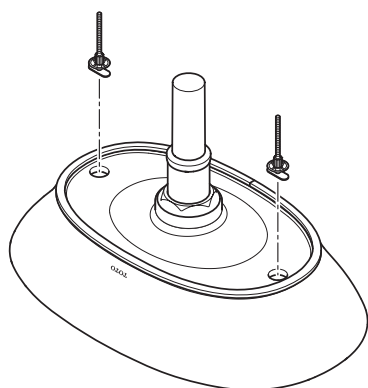
• 陶器とのすき間がなくなるまで、しっかり押し込む

寸切ボルトが途中までしか入らず、手洗器が固定できません。



ベッセルタイプ(丸形)の場合

参照 同梱の施工説明書を参照してください。



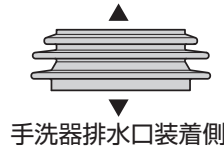
4 パッキン(排水口)の取り付け

ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ/Lサイズ)の場合

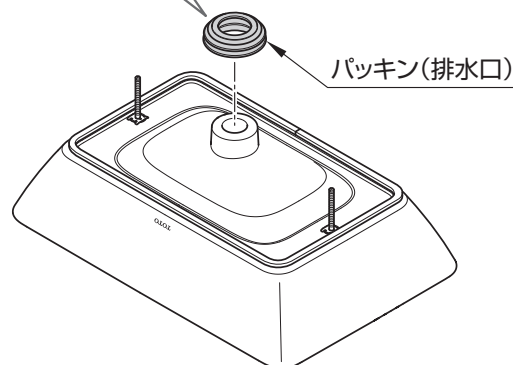
※図はLサイズの場合

手洗器排水口外周の汚れを取り除き、装着する

排水ソケット側



手洗器排水口装着側



! 注意



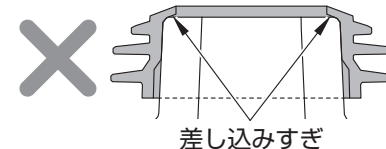
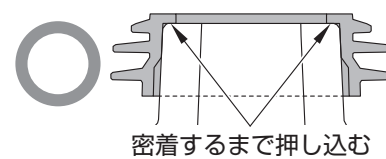
禁止

パッキン(排水口)にグリスを使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



必ず守る

パッキン(排水口)は手洗器排水口に
密着するまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



5 手洗器の取り付け

ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ)の場合

注意

バックパネル(オプション)の取り付けは、手洗器固定前に行う

参照 バックパネルの施工説明書

注意

手洗器を壁に押し当てる

② 目皿を取り付ける

取付材(排水ソケット)

ばね座金
M6(2個)

平座金
M6(4個)

① ボルトの先端が見えるまでローレットナットを入れる

ローレットナット
M6(2個)

! 注意



必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する

水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

③ しっかりボルトを締め込む
※締め付け時、陶器との摩擦音が発生することがあります。

④ ローレットナットを
しっかり締め付ける

手締めで

注意

- ・ボルトができるだけ真っ直ぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けができれば問題ありません。
- ・ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつきがないことを確認する

ベッセルタイプ(丸形)の場合

左右の位置を調整

固定用板金

M4 蝶ナット

取付ボルト2カ所へ固定用板金を当て、蝶ナットで締め付けてください

ベッセルタイプ(角形)(Lサイズ)の場合

② 目皿を取り付ける

取付材(排水ソケット)

ばね座金
M6(2個)

平座金
M6(4個)

① ボルトの先端が見えるまでローレットナットを入れる

ローレットナット
M6(2個)

! 注意



必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する

水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

5

手洗器・水栓金具

- ③ しっかりボルトを締め込む
※締め付け時、陶器との摩擦音
がなることがあります。

- ④ ローレットナット
をしっかり締め
付ける



手締めで

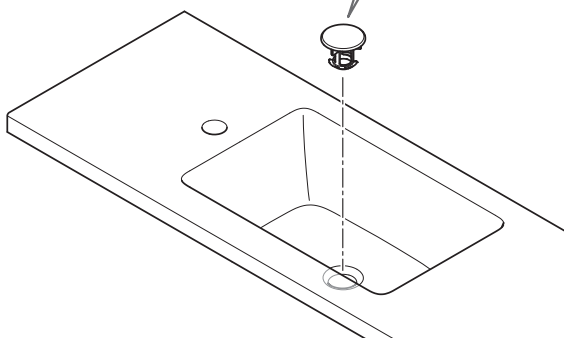


注意

- ボルトができるだけ真っ直ぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けができれば問題ありません。
- ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつきがないことを確認する

ボウル一体タイプの場合

- ① 目皿を取り付ける



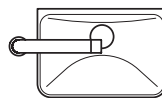
MEMO

6 水栓金具の取り付け

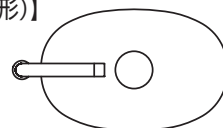
吐水口の向き

※図はハンドル式水栓の場合

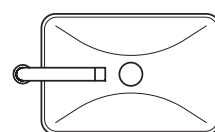
【ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ)】



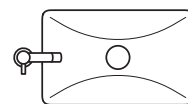
【ベッセルタイプ(丸形)】



【ベッセルタイプ(角形)(Lサイズ)】



【ボウル一体タイプ】

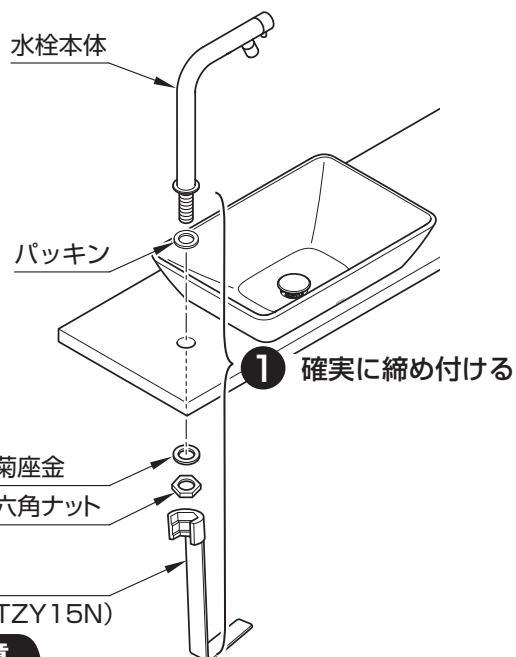


自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書を
参照してください。



ハンドル式水栓の場合



注意

- 水栓本体が動かないことを確認
- 六角ナットの締め付けにTZ工具を使用すると作業がしやすくなります。



(別売品: TZY15N)

6.フレキホース・電気温水器

手洗器なしの場合はP.47へ

ハンドル式水栓の場合

1 フレキホースの取り付け

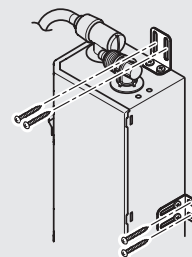


▶P.43 壁給水

▶P.44 床給水

自動水栓（電気温水器付）の場合

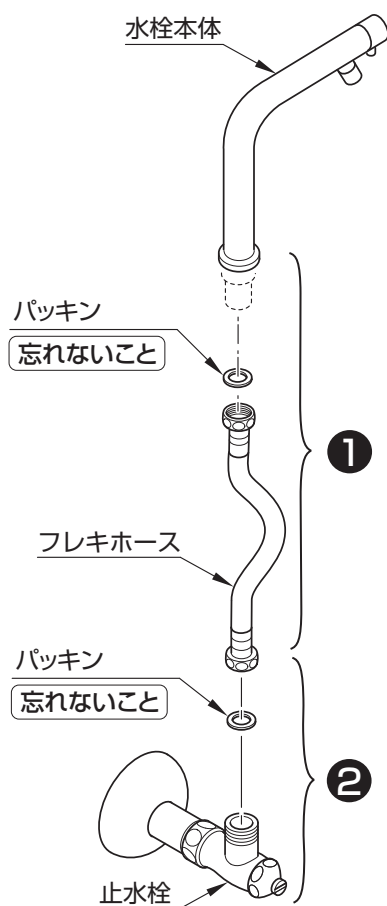
2 電気温水器の取り付け



▶P.45

1 フレキホースの取り付け

ハンドル式水栓の場合（壁給水）



注意

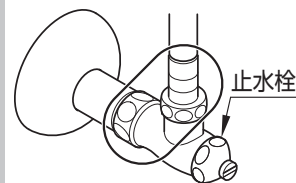
・フレキホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意する

フレキホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、フレキホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。

・フレキホースを無理に引っ張らない
フレキホースが折れる可能性があります。

・給水管の各接続部は
増し締めする

水漏れを確認



⚠ 注意



必ず守る

フレキホースは折らない

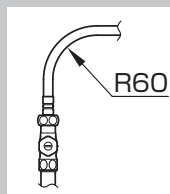
折れ曲がりによる吐水不良の原因となります。
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

ハンドル式水栓の場合（床給水）

注 意

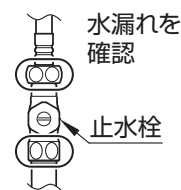
・フレキホースを必要以上の力で
曲げて折らないように注意する

フレキホースの最小曲げ半径は60mm
です。それよりも小さく曲げて使用すると、
フレキホースが折れ、十分な流量が出ない
場合や破損・水漏れのおそれがあります。



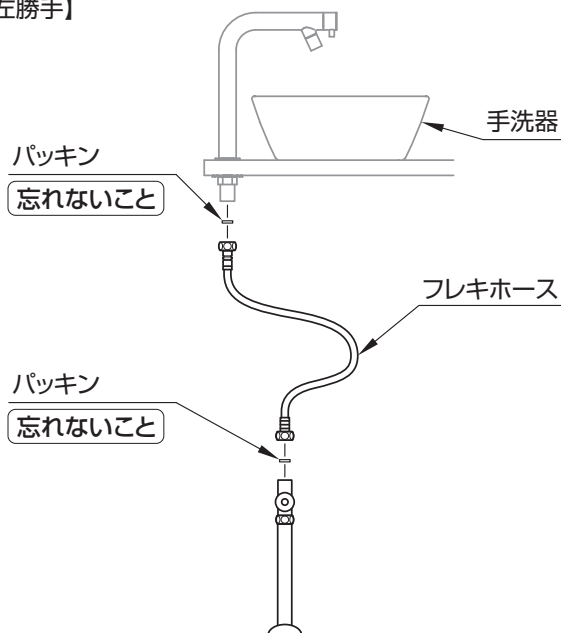
・フレキホースを無理に引っ張らない
フレキホースが折れる可能性があります。

・給水管の各接続部は増し締め
する

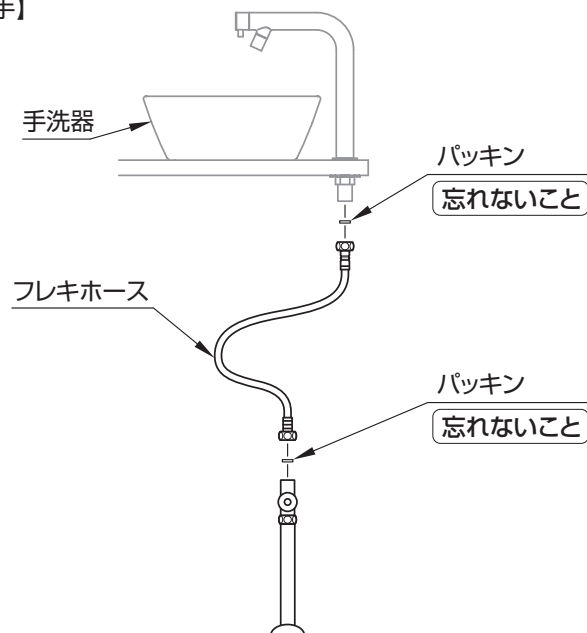


Mサイズの場合

【左勝手】



【右勝手】

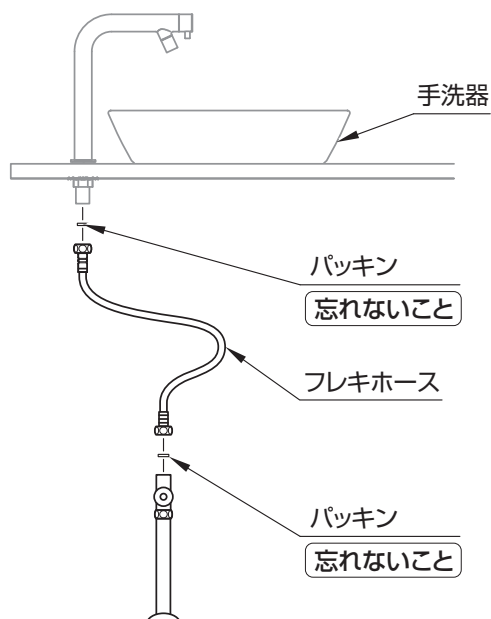


Lサイズの場合

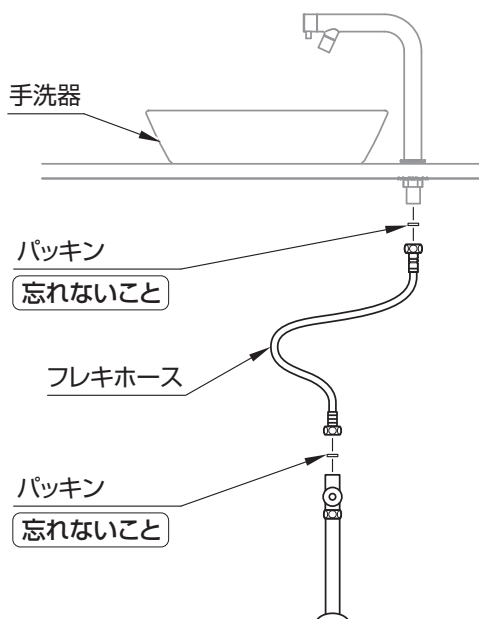
ベッセルタイプ(丸形)、ベッセルタイプ(角形)、ボウル一体タイプとも共通です。

※図はベッセルタイプ(角形)

【左勝手】



【右勝手】



自動水栓（電気温水器付）の場合

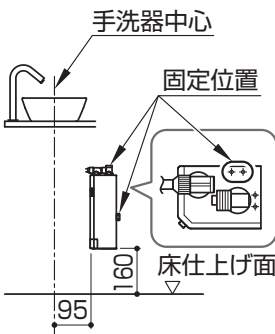
2 電気温水器の取り付け

参照 電気温水器の施工説明書を参照してください。
取付位置と機能部の接続については本書を参照してください。

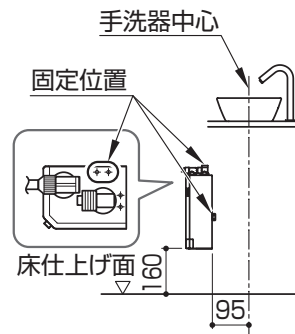
電気温水器取付位置

Mサイズの場合

【左勝手】



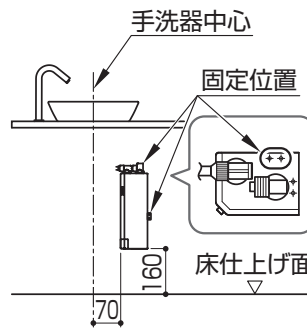
【右勝手】



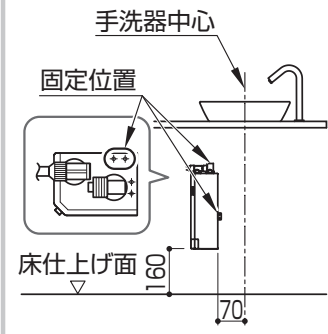
Lサイズの場合

ベッセルタイプ(丸形)、ベッセルタイプ(角形)、ポウル一体タイプとも共通です。
※図はベッセルタイプ(角形)の場合

【左勝手】

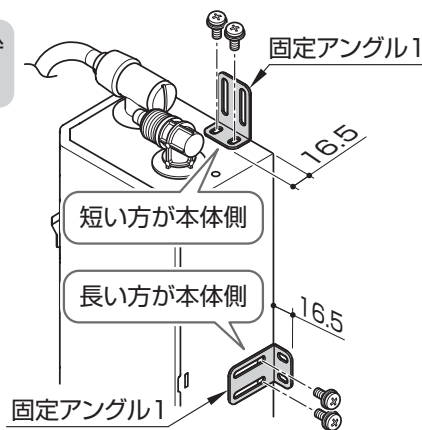


【右勝手】



1 固定アングル1を本体に取り付ける

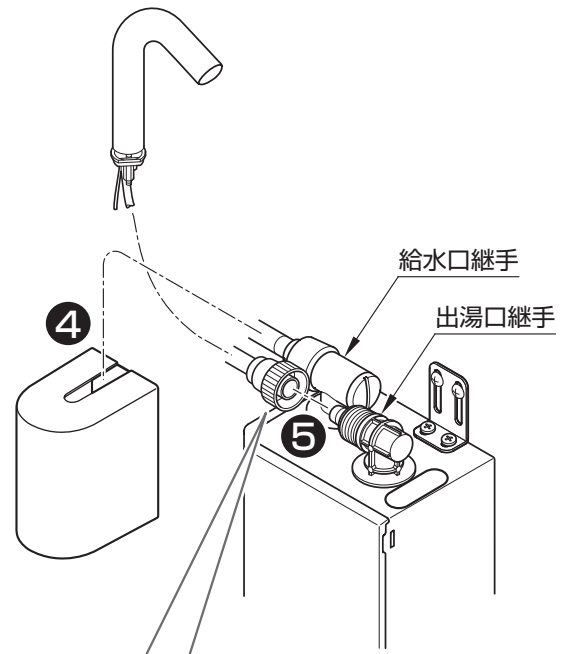
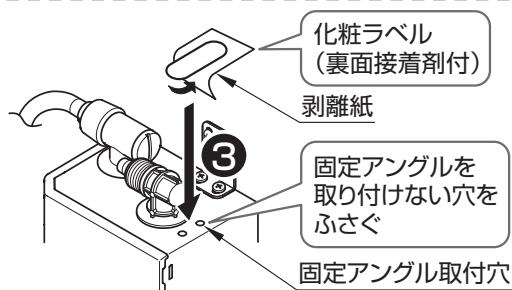
十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×10(4本)



2 電気温水器を壁に固定する

十字穴付なべタッピンねじ
4×30(4本)

下穴



スパウト連結ホースに袋ナットを通す

差し込む



⚠ 注意



必ず守る

・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

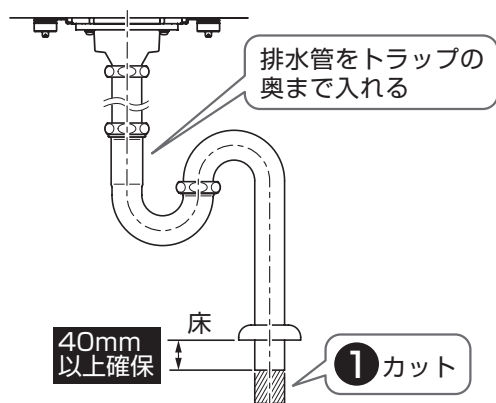
7.排水トラップ

手洗器なしの場合はP.47へ

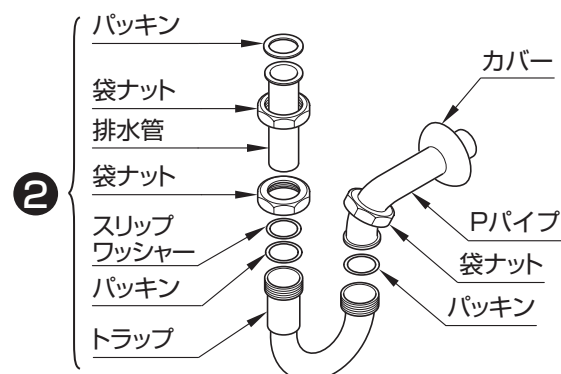
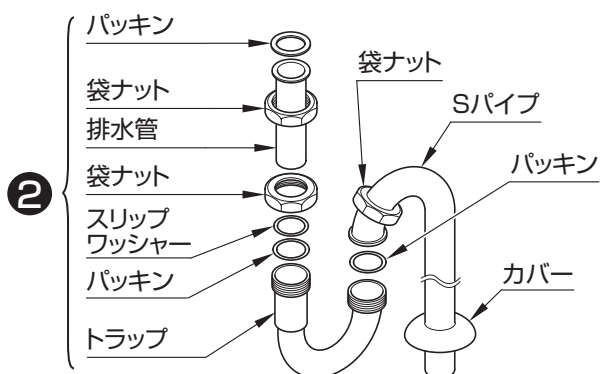
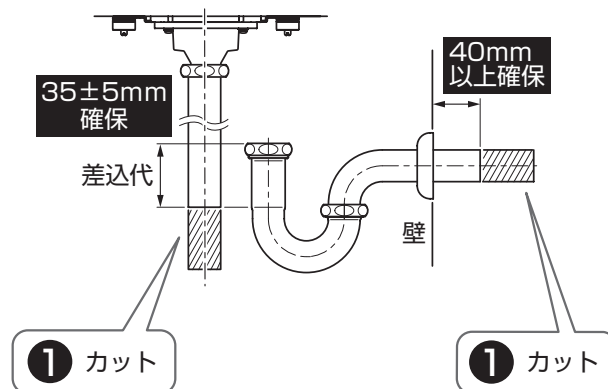
1 排水トラップの取り付け

ベッセルタイプ(角形)・ボウル一体タイプの場合

床排水の場合



壁排水の場合

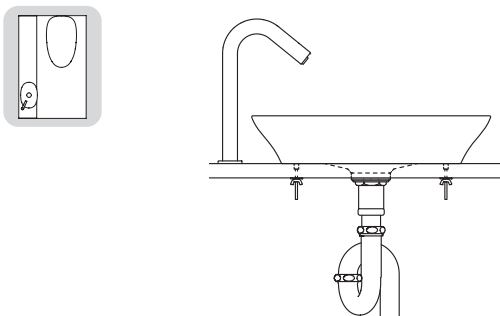


ベッセルタイプ(丸形)の場合

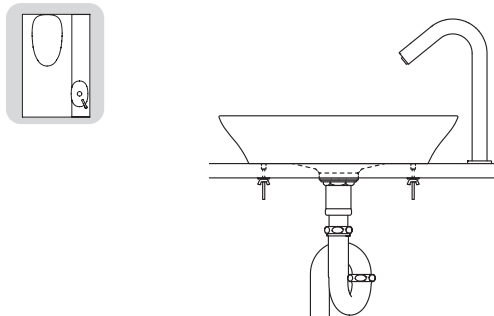
参照 排水金具に同梱の施工説明書もあわせて参照してください。

排水管の取り回し(床排水の場合)

【左勝手】



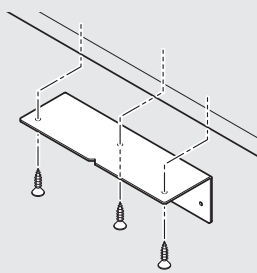
【右勝手】



8.紙巻器

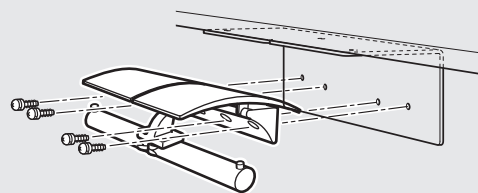
ビルトインリモコンなしの場合

1 取付材(紙巻器)の取り付け



▶P.47

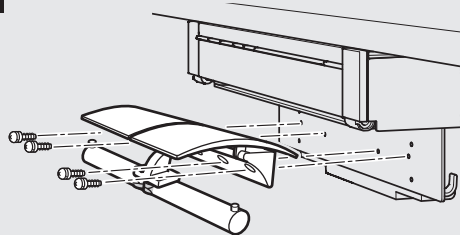
2 紙巻器の取り付け



▶P.48

ビルトインリモコンありの場合

2 紙巻器の取り付け



▶P.49

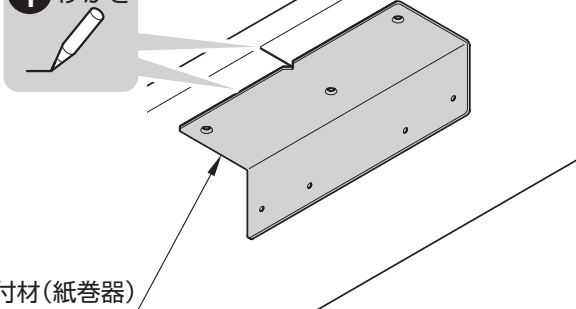
ビルトインリモコンなしの場合

1 取付材(紙巻器)の取り付け

メタル製紙巻器の場合

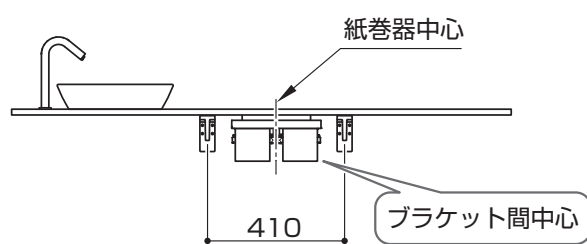
1 取付材(紙巻器)の位置出しをする

1 けがき



取付材(紙巻器)

【左右方向】



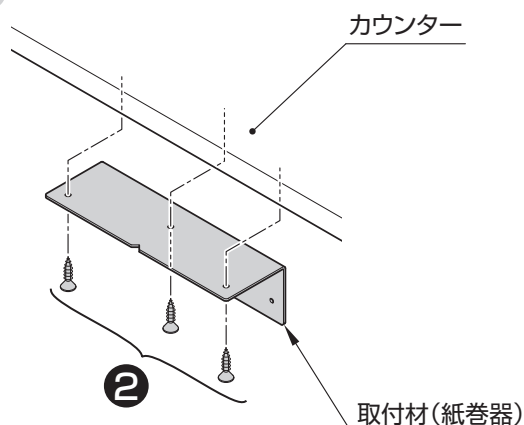
【前後方向】

木質製カウンター	マーブライトカウンター クリスタルカウンター
カウンター前端から 取付材(紙巻器)の前端 35 取付材(紙巻器)	裏張材の前端と取付材(紙巻器)の 前端をあわせる 裏張材 取付材(紙巻器) ※図はマーブライトカウンター

手締めで



十字穴付皿タッピンねじ
4×12(3本)



ビルトインリモコンなしの場合

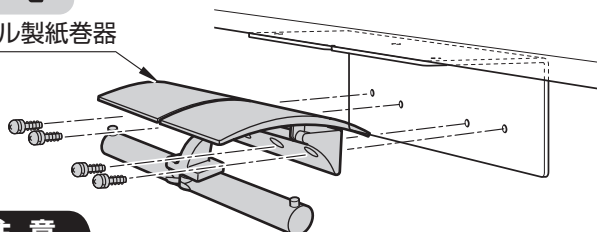
2 紙巻器の取り付け

メタル製紙巻器の場合

手締めで

十字穴付座金組込ナベしねじ
M4×8(4本)

メタル製紙巻器



注意

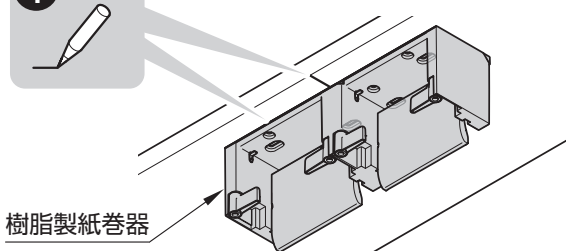
同梱の十字穴付なベタッピンねじ
(4×40)(4本)は使わない

取付材(紙巻器)を破損するおそれがあります。

樹脂製紙巻器の場合

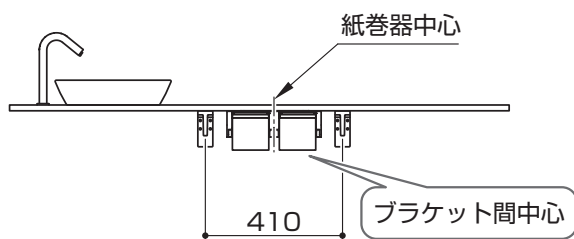
1 紙巻器の位置出しをする

1 けがき



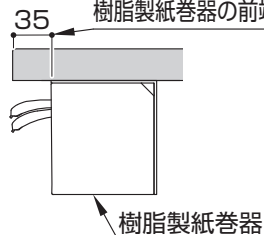
樹脂製紙巻器

【左右方向】

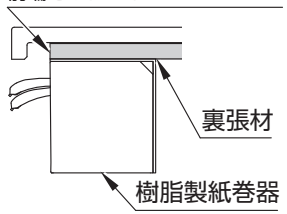


【前後方向】

木質製カウンター

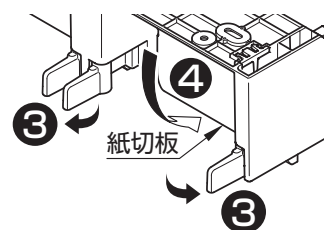
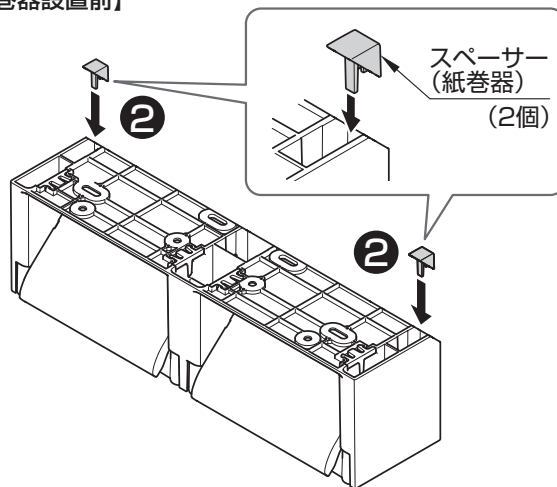
カウンター前端から
樹脂製紙巻器の前端

樹脂製紙巻器

マープライトカウンター
クリスタルカウンター裏張材の前端と樹脂製紙巻器の
前端をあわせる

※図はマープライトカウンター

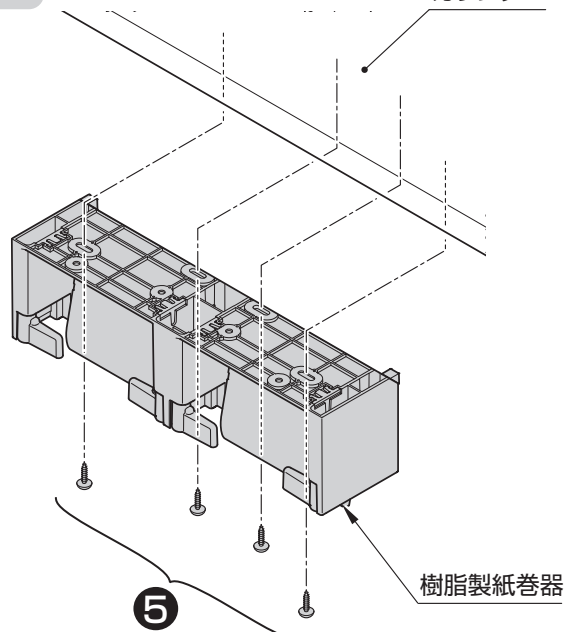
【紙巻器設置前】



手締めで

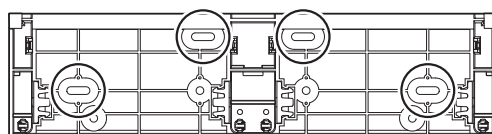
十字穴付トラスタッピンねじ
4×14(4本)

カウンター



注意

長穴4カ所を使って固定する

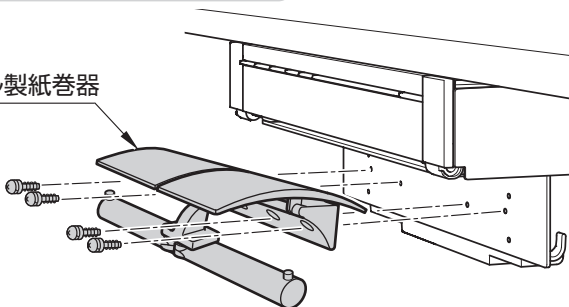


ビルトインリモコンありの場合

メタル製紙巻器の場合

✕ 十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×8 (4本)

メタル製紙巻器



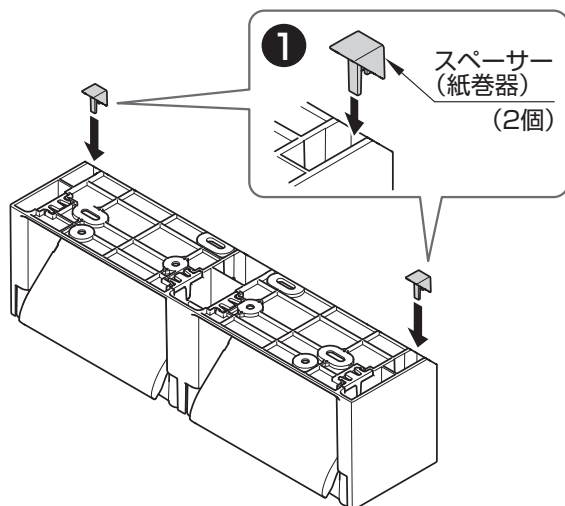
注意



同梱の十字穴付なべタッピンねじ
(4×40) (4本)は使わない

ビルトインリモコンもしくは、取付材(紙巻器)を
破損するおそれがあります。

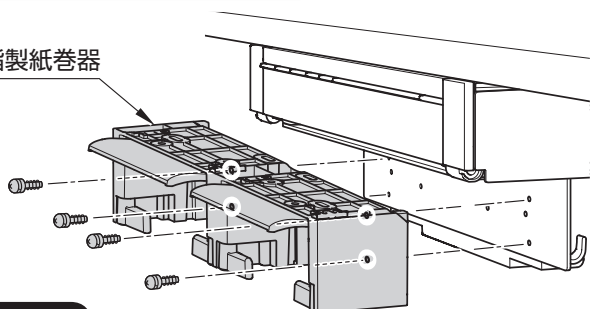
樹脂製紙巻器の場合



2

✕ 十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×12 (4本)

樹脂製紙巻器



注意



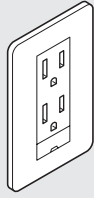
同梱の十字穴付トラスタッピンねじ
(4×14) (4本)は使わない

ビルトインリモコンもしくは、取付材(紙巻器)を
破損するおそれがあります。

MEMO

9. 試運転・確認

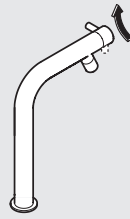
1 電気コンセントの確認



▶P.50

手洗器ありの場合

2 吐水の確認



▶P.51

手洗器ありの場合

3 水漏れの確認



▶P.52

1 電気コンセントの確認

コンセントに電源プラグを下図を参考に根元まで確実に差し込む。

設置位置	設置機器				コンセント	プラグの差し込み位置	
	自動水栓	電気温水器	ビルトインリモコン	照明付化粧鏡		下側	上側
カウンター下	○	○	○	—	 ・接地用端子の付いた 接地極付きの壁埋込 式2口コンセント	電気温水器 ビルトインリモコン	自動水栓
	○	○	—	—		電気温水器	自動水栓
	○	—	○	—	 ・壁埋込式2口コンセント	ビルトインリモコン	自動水栓
	○	—	—	—	 ・壁埋込式1口コンセント		自動水栓
	—	—	○	—			ビルトインリモコン
	—	—	—	○			照明付化粧鏡
化粧鏡裏	—	—	—	○			

手洗器ありの場合

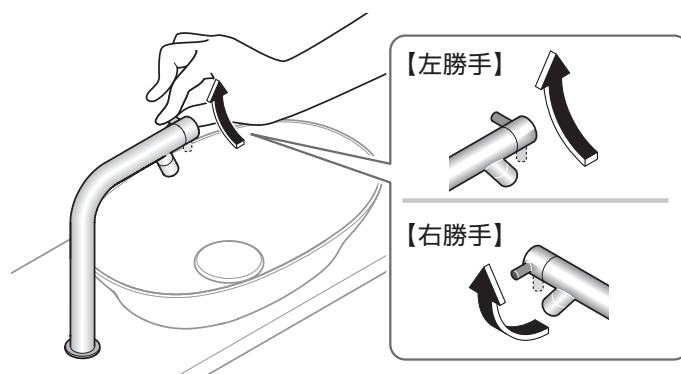
2 吐水の確認

参照 自動水栓・電気温水器の確認は、それぞれに同梱の施工説明書を参照してください。

ハンドル式水栓の場合

① 止水栓が閉まっていることを確認する

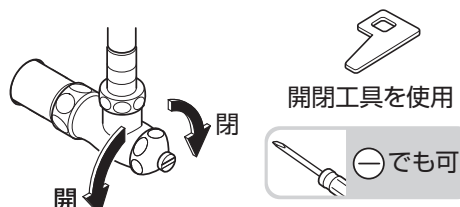
② ハンドルを全開にする



※図はベッセルタイプ(丸形)の場合

③ 適切な流量になるまで、少しずつ止水栓を開ける

水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、止水栓を回して、流量を調整してください。



! 注意



必ず守る

流量は必ず調整する

- ・流量が多いと使用時に水はねして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
- ・流量が少ないと複数個所の同時吐水時に流量不足となる場合があります。

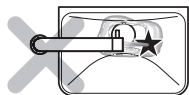
★ 水があたる位置

【Mサイズ】

・ベッセルタイプ(角形)の場合



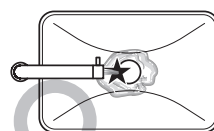
流量が多い



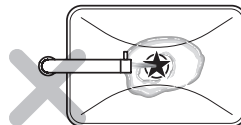
流量が少ない



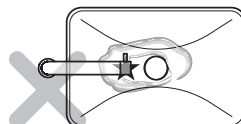
・ベッセルタイプ(角形)の場合



流量が多い

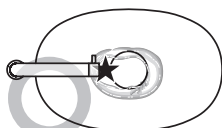


流量が少ない

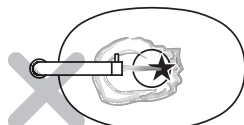


【Lサイズ】

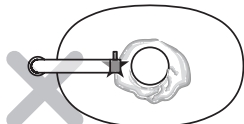
・ベッセルタイプ(丸形)の場合



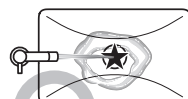
流量が多い



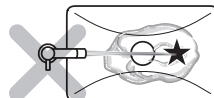
流量が少ない



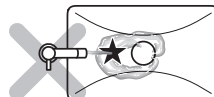
・ボウル一体タイプの場合



流量が多い



流量が少ない



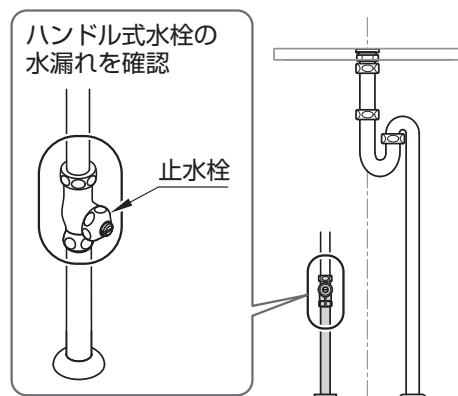
手洗器ありの場合

3 水漏れの確認

参照 自動水栓・電気温水器の確認は、それぞれに同梱の施工説明書を参照してください。

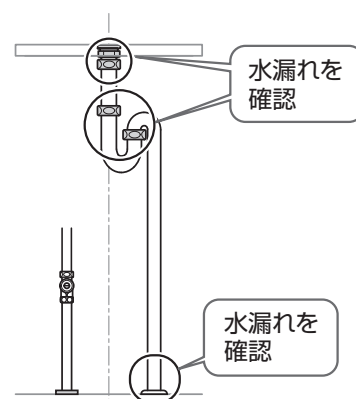
止水栓の水漏れ確認

※図は床給水の場合



排水管の水漏れ確認

※図は床排水の場合



10.シリコン系シール剤

1 シリコン系シール剤の塗布

警告



必ず守る

シリコン系シール剤の塗布(コーキング)は確実に
水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

※ジョイントコークなどの水溶性のコーキングは使用しないでください。

※TOTOおすすめシリコン系シール剤(別途手配)

メジシール(クリア)：YG903S

Mサイズ

【アクセントパネルなしの場合】

カウンターと
壁とのすき間

【バックパネルありの場合】

カウンターと
壁とのすき間

カウンターの厚みまで

【アクセントパネルありの場合】

カウンターと
壁とのすき間

手洗器の背面全周

カウンターと
アクセントパネルのすき間

カウンターの厚みまで

Lサイズ ※図はベッセルタイプ(角形)

【アクセントパネルなしの場合】

カウンターと
壁とのすき間

カウンターと
壁とのすき間

カウンターの厚みまで

【アクセントパネルありの場合】

カウンターと
壁とのすき間

カウンターと
アクセントパネルのすき間

カウンターの厚みまで

手洗器がない場合 ※図はMサイズの場合

【手洗器なし(アクセントパネルなし)の場合】

カウンターと
壁とのすき間

カウンターと
壁とのすき間

カウンターの厚みまで

【手洗器なし(アクセントパネルあり)の場合】

カウンターと
壁とのすき間

カウンターと
アクセントパネルのすき間

カウンターの厚みまで

11.ビルトインリモコンの組み合わせ設定

必ず実施

組み合わせ設定

●下記の「組み合わせ設定」をしないと各機器が作動しません。

●照明付化粧鏡の取付有無によって、組み合わせ設定 **A** または **B** を選択してください。

施工時に
照明付化粧鏡を取り付けていない

施工時に
照明付化粧鏡を取り付けた

B 次ページ参照

A

●本書の「取付方法」を完了してから行ってください。

必ず以下の施工手順に従って作業してください。
(施工手順を変えると、正しく設定できない場合があります。)

① ウォシュレット本体とビルトインリモコンの電源プラグを差し込む

ネオレストAH・RHの場合



② 便座の左側を手で 10回押す (10秒以内)

・「ピッ」という電子音が鳴ります。

水でぬらした
やわらかい布
(傷つきを防ぐ
ため)

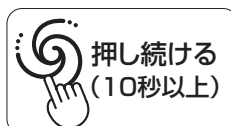


ネオレストNXの場合



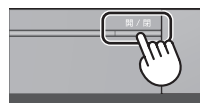
② 便座右上の流すボタン⑥を押し続ける (10秒以上)

・ボタンを押すとすぐに「ピッ」という電子音が鳴りますが、約10秒後に「ピッ」という電子音がもう一度鳴るまで押し続けてください。(1回目の電子音は、便器洗浄の受付音です。)



ウォシュレット本体が設定状態に入ります。
※設定状態は約2分です。時間内にすべての設定を完了させてください。

③ ビルトインリモコンの **開/閉** を押す



④ **止** を5回押す



5回押す

設定完了



「設定が完了しました」と表示されない場合は、組み合わせ設定が完了していません。
手順 **②** からやり直してください。

⑤ **終了** を押す

画面にボタンが表示されます



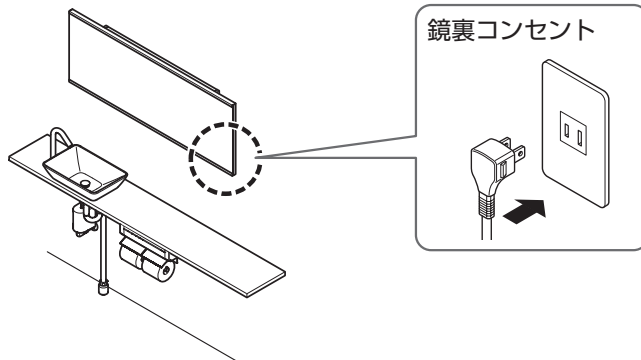
B

●本書の「取付方法」および「照明付化粧鏡(オプション)」の施工までを完了してから行ってください。

参照 照明付化粧鏡の取り付けは、照明付化粧鏡に同梱の施工説明書を参照してください。

必ず以下の施工手順に従って作業してください。
(施工手順を変えると、正しく設定できない場合があります。)

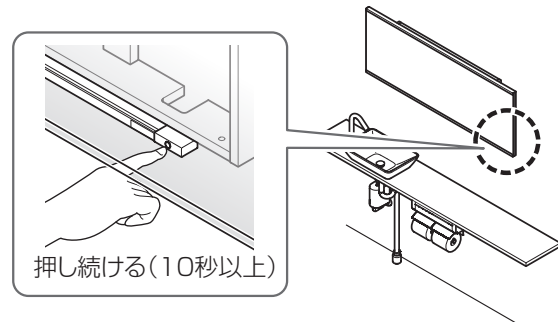
① 下図の電源プラグを差し込む



② 照明付化粧鏡の内側にあるボタンを、10秒以上押す

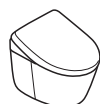
●設定状態に入り、照明付化粧鏡が1秒おきに点滅します。

※設定状態は約5分です。
時間内に、すべての設定を完了させてください。



③ ウォシュレット本体とビルトインリモコンの電源プラグを差し込む

ネオレストAH・RHの場合



④ 便座の左側を手で 10回押す 10秒以内に10回押す(10秒以内)

・「ピッ」という電子音が
鳴ります。
(設定状態に入ります。)

水でぬらした
やわらかい布
(傷つきを防ぐ
ため)



ネオレストNXの場合



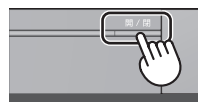
④ 便座右上の流すボタンを押し続ける(10秒以上)

・ボタンを押すとすぐに「ピッ」という電子音が鳴りますが、約10秒後に「ピッ」という電子音がもう一度鳴るまで押し続けてください。
(設定状態に入ります。)
(1回目の電子音は、便器洗浄の受付音です。)



※ウォシュレットの設定状態は約2分です。

⑤ ビルトインリモコンの開/閉を押す



⑥ 止 を5回押す



5回押す

確認（各項目を確認後、□に✓してください）

□リモコン画面に「設定が完了しました」と表示されましたか



「はい」

「いいえ」

手順②から
やり直してください。

□照明付化粧鏡が0.5秒おきに点滅し、約10秒後に点滅が終わりましたか

□ 終了 → 設定 → 次ページへ を押す

→ リモコン画面に「照明」が表示されましたか



すべて「はい」

手順⑦へ

1つでも「いいえ」

止 と パワー脱臭 同時に10秒以上押した後に
手順②からやり直してください。



⑦ 終了 を押す

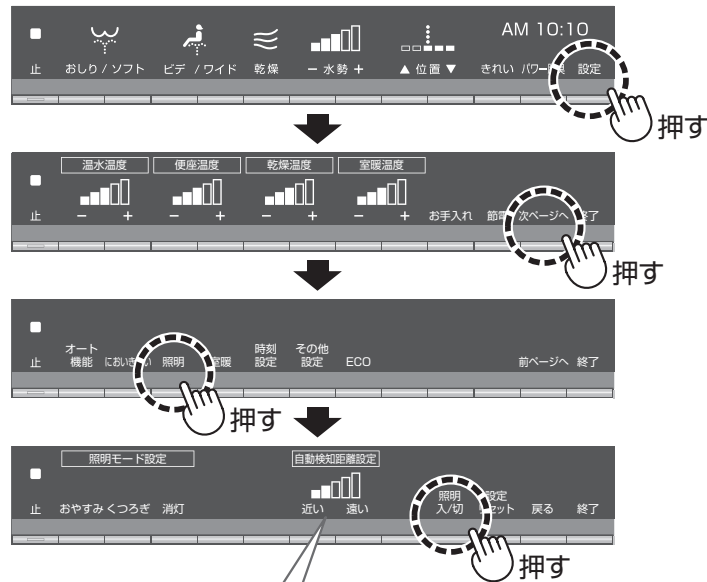


- 「組み合わせ設定」と12.照明付化粧鏡の動作確認が終わりましたら、ウォシュレット・ネオレスト施工説明書の「洗浄水量の切り替え」より、引き続き作業を行ってください。

12. 照明付化粧鏡の動作確認

① 照明の動作確認

- ・ビルトインリモコンより「設定」→「次ページへ」→「照明」のメニューに入る
- ・「照明入/切」により照明付化粧鏡が動作（点灯/消灯）することを確認する
※最後は必ず「照明点灯」の状態にすること



注意

ビルトインリモコンと組み合わせ時はウォシュレットのやわらかライトは点灯しません

② 自動検知距離設定

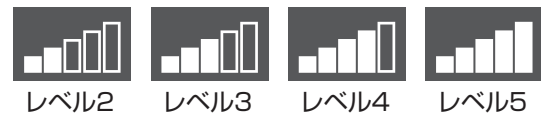
- ・ビルトインリモコンより「設定」→「次ページへ」→「照明」のメニューに入り、「自動検知距離設定」によりトイレブースの奥行き寸法に合わせて設定する
- ・右表のように、設置するネオレストの種類と奥行き寸法からなる設定レベル（目安）を設定する
- ・設定後、トイレドアを開けて入室して一步以内で照明付化粧鏡が点灯することを確認する（確認は、トイレ外に出てトイレドアを閉め、180秒以上経過した後の入室で実施）
- ・入室して一步以上進まないで照明付化粧鏡が点灯しない場合は、設定レベルを上げる（たとえば、レベル3をレベル4にする。最大はレベル5）

注意

設置するネオレストの機種によりレベル設定値が異なる

レベル設定値（目安）			
奥行き寸法	ネオレスト		
	NX	AHW	RHW
1600mm以上1700mm未満	2	3	3
1700mm以上1900mm未満	3	4	4
1900mm以上	4または5	5	4または5

レベル設定値の画面表示



レベル2

レベル3

レベル4

レベル5

MEMO

MEMO

工事店様へ

このたびはレストルームドレッサーを施工いただき、ありがとうございました。